

消 防 年 報

令和 5 年版
(2023年)



西 宮 市 消 防 局

令和 6 年 (2024年) 刊行第72号

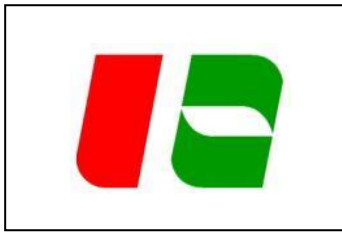
西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、令和5年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

令和6年（2024年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。このように、「文教住宅都市宣言（1963年）」により、風光の維持、環境の保全、そして文教の振興を図ることで、人々に憩いと安住の地を提供することを本市まちづくりの基本理念として定め、過去には阪神・淡路大震災などの苦難も乗り越えながら、住みやすい街として長く評価をいただけてきました。また、世界中に核兵器の廃絶を強く訴え、平和を愛する社会を育み、築くことを目指す「平和非核都市宣言（1983年）」、本市の持つ、教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぎ、持続可能な社会を目指す「環境学習都市宣言（2003年）」も、普遍的な価値を持ち、本市まちづくりの礎となっています。



目

令和5年度に実施した主な事業	
消防車両整備事業	9

概 況	
西宮市の消防	13
令和5年中の各種出動件数	13
各種出動状況	14
緊急消防援助隊派遣状況	14
火災、その他災害出動、救助出動、 救急出動件数の推移	15
西宮市消防の沿革	16
所属別情勢	33
令和5年度重点目標	34
消防局の組織及び事務分掌	35
消防署の組織及び事務分掌	36
職員配置状況	37
年度別職員数状況	37
職員年齢状況	37
職員勤続年数状況	37
消防庁舎の概要	38
消防自動車等保有状況	39
消防情勢の推移	40
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	41
消防協力隊結成状況	41
消防水利の状況	42
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	42
消防相互応援協定締結状況	43
庁舎配置及び管轄区域	44

次

総 務	
総務の概要	47
消防予算	48
一般会計予算と消防予算の推移	49
消防予算市民負担の推移	49
職員研修状況	
派遣研修（その1）	50
派遣研修（その2）	52
職場研修	53
消防吏員階級別資格取得状況	54
公務災害等発生状況	55
消防表彰等の状況	56
消防音楽隊の状況	57

広 報 及 び 広 聴	
広報及び広聴の概要	61
広報活動状況	61
資料配布及び刊行物発行	62
広聴事務処理状況	62
消防情報の提供（報道機関等）	62

予 防 行 政

予防行政の概要	65
防火対象物現況表	66
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	67
防火対象物査察・検査実施状況	68
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	69
防火管理に関する講習の実施状況	70
建築物確認申請等処理状況	70
12条報告・仮使用承認等処理状況	70
危険物製造所等設置許可数	71
危険物製造所等類別設置許可数	71
所属別危険物施設等現況及び査察状況	72
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	73
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	73
少量危険物・指定可燃物・ 液化石油ガス等届出施設状況	73
住宅防災診断実施状況	74
住宅防災診断指導件数	74

火 災 統 計

火災の概要	77
火災の状況	79
火災状況の推移	80
署別火災発生状況	80
月別火災発生状況	81
曜日別火災発生件数	82
時間別火災発生件数	82
覚知方法別火災発生件数	82
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	83
火災種別毎の損害額の割合(前年比較)	83

出火原因	84
10年間の主な出火原因	84
放火件数の推移	85
放火の曜日別火災発生件数	85
放火の時間別火災発生件数	85
放火による着火物	85
主な火災発生状況	86
隣接都市火災応援(被応援)出動状況	86
高速道路における隣接都市 火災応援(被応援)出動状況	86
消防局消防活動状況	87

そ の 他 災 害 統 計

その他災害の概要	91
所属別その他災害発生状況	92

水 防 統 計

水防災害活動状況	95
----------	----

救 急 統 計

救急の概要	99
救急出動件数	100
救急出動件数・搬送人員の推移	100
事故種別出動件数及び搬送人員	101
事故種別出動件数の推移	101
事故種別傷病程度別搬送人員	102
傷病程度別搬送人員の推移	102
事故種別年齢区分別搬送人員	103
年齢区分別搬送者の推移	103
月別救急出動件数	104
曜日別救急出動件数	104
時間別救急出動件数	105
医療機関別搬送状況	106
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	106
現場到着及び病院収容所要平均時間	107
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	107
応急処置等の状況	108
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	108
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	109
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	109
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	109
熱中症による救急搬送状況の週別推移	110
熱中症による救急搬送状況の推移	110

救急出動状況	111
救急隊別出動状況	112
月別・曜日別救急出動状況	113
所属別救急講習出動状況	114
救急講習実施回数及び受講者の推移	114

救 助 統 計

救助の概要	117
救助出動状況	118
発生場所別出動状況	119
月別救助出動状況	120
救助出動状況の推移	121
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	122
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	122
主な救助器具配置状況	123

消 防 通 信

指令業務の概要	127
消防通報用電話（119番）受信状況	129
消防通信施設の状況	130
気象情報等月別発表状況	131
消防テレホンサービス利用状況	132

車 両 整 備

車両整備の概要	135
車両の購入	135
点検整備等	136

消 防 団

西宮市消防団の沿革	139
消防団の組織	141
消防団自動車現況	142
消防団員在職年数状況	143
消防団員年齢状況	143
消防団費と市民負担	144
消防団出動状況	144
消防団訓練実施内容	144
派遣研修及び教育訓練実施状況	144
公務災害等発生状況	145
団員の職業別	146
表 彰	146

令和5年度に 実施した主な事業



令和6年能登半島地震に伴う緊急消防援助隊派遣

消防局車両整備事業



水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)
【浜分署】



高規格救急自動車
【西宮消防署】

概 況



第51回消防救助技術近畿地区指導会

西宮市の消防

(令和6年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1	(整備センター・消防訓練施設を含む)
消防署	4	
消防分署	4	
消防自動車等	80台	(非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1	(消防局庁舎内)
分団数	33	分団(7地区)
分団車庫	36	箇所
消防自動車等	39	台

消防職員

定数	522人
実員	490人(うち女性13人)
	※派遣職員13人(うち女性2人)を除く

消防団員

定員	755人
実員	671人(うち女性13人)

《令和6年度消防予算》

66億2,409万9千円

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	109人(うち女性1人)
団員	425人(うち女性12人)
機能別団員	23人

令和5年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	85件
(令和4年中)	77件)
西宮市で4.3日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	2億6,148万9千円
(令和4年中)	8,683万9千円)
火災1件あたりの損害額は307万6千円となり、市民1人あたりでは540円になります。	

死傷者	[死者 1人]
	[負傷者 10人]

令和4年中	[死者 2人]
	[負傷者 23人]

《その他災害》

その他災害出動件数	1,094件
(令和4年中)	1,095件)

《救急》

救急出動件数	28,686件
(令和4年中)	26,468件)
西宮市で1日平均78.6件出動したことになります。	

	(令和5年中)	(令和4年中)
1 急病	19,022件	17,535件
2 一般負傷	5,063件	4,576件
3 交通事故	1,610件	1,584件
4 上記以外	2,991件	2,773件
となっています。		

《救助》

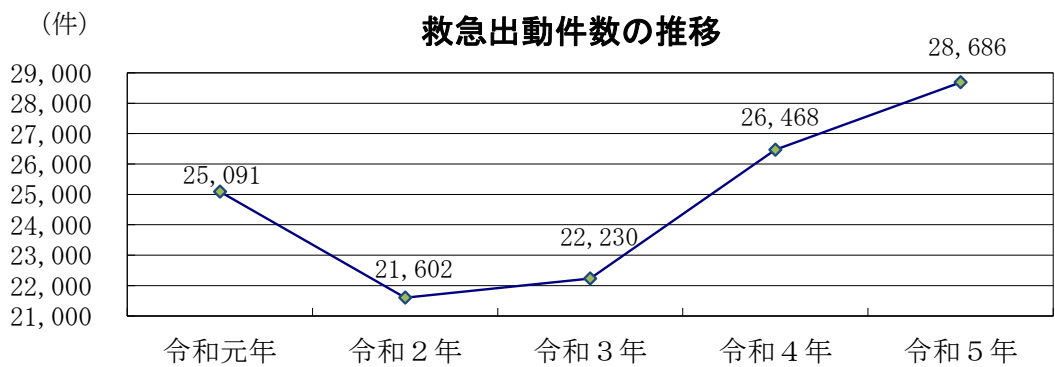
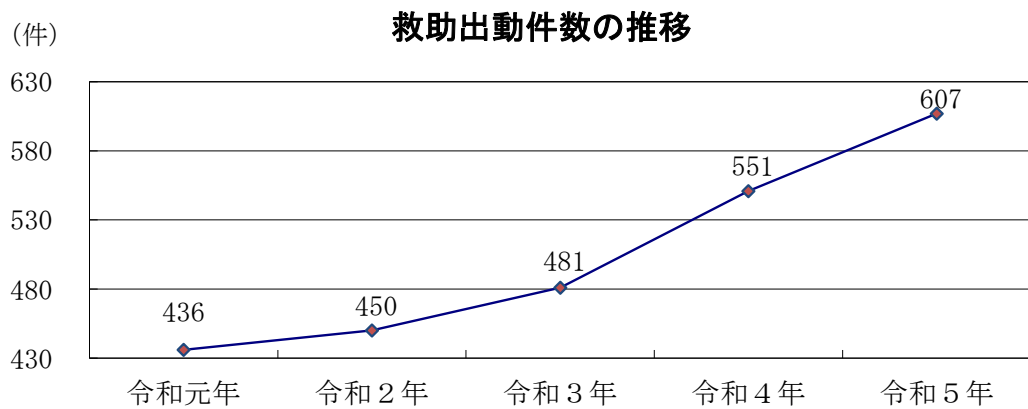
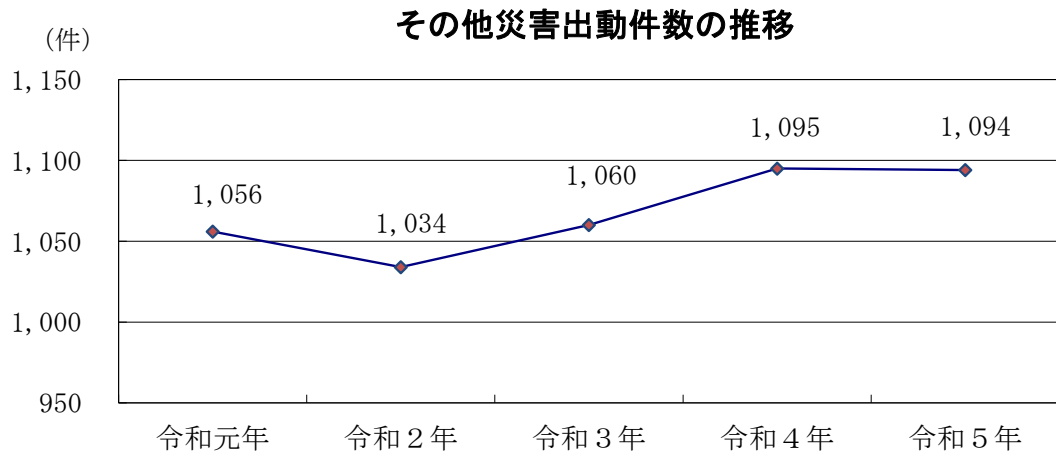
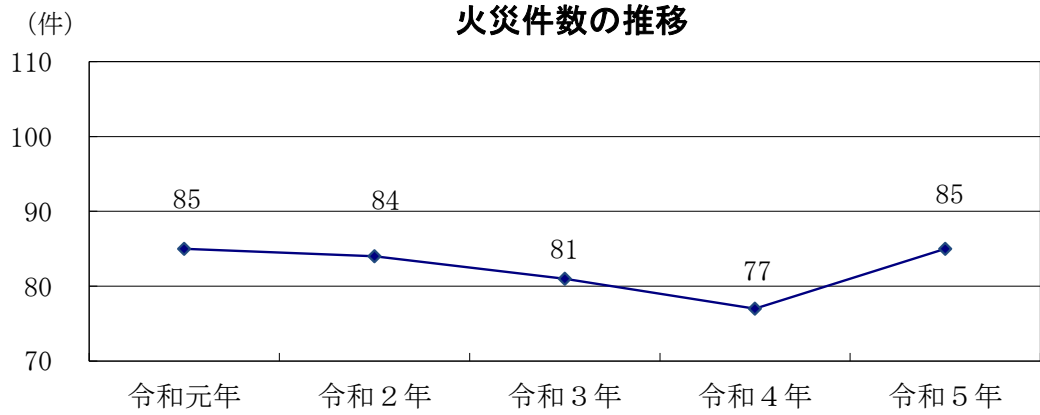
救助出動件数	607件
(令和4年中)	551件)

各種出動状況

種 別		件数等	出動台数	出動人員	
緊 急 出 動 業 務	火 災	火災件数	85	387	1,396
		死 者 (人)	1		
		負 傷 者 (人)	10		
		1日当りの火災件数	0.2		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	1,094	1,408	5,300
		緊急措置	128		
		緊急確認	421		
		支援活動	216		
		その他	86		
		補完	243		
	救 助 出 動	救助出動件数	607	1,407	5,075
		救助人員 (人)	292		
		1日当りの救助出動件数	1.7		
	救 急 出 動	救急出動件数	28,686	28,686	86,172
		傷病者搬送人員 (人)	25,949		
		ドクターカー出動件数	38		
1日当りの救急出動件数		78.6			
合 計		30,472	31,888	97,943	

緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
該当なし			



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 その他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台でもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、市役所の屋上に高所カメラを、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長3課11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機構改革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長一次長4課12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く

	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防 査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の 条件整備を図る
昭和50年	42 m はしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を 配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、 2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救 助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署 1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図っ た
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消 防局瓦木分室（救急救助課）が運用していた救急車を配置 替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課 に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局（本局）に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導 係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張 所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3 消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替えのため鳴尾町2丁目所属照寂公園に 仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の 発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技 術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42 m はしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工（旧庁舎敷地跡）
	定 数 改 正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機 構 改 革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図 る

	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防音楽同好会の発足	1月	消防音楽同好会の発足
	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足

	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始

	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置 (～平成7年1月)
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	(1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入 (以降、ポンプ車に順次整備)
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置

平成8年	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	平成9年	高度救助用器具の導入	8月
計 測 震 度 計 の 設 置		8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
災害対応ネットワークの運用		9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
西宮市消防協力隊の結成		10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
救 急 救 命 士		10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
広域災害救急医療情報システム		12月	広域災害救急医療情報システム（EMIS）の運用開始
全 国 共 通 波 の 整 備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設	

	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視
	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
平成10年	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を経由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
平成11年	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
平成12年	機構改革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設
	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成13年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター（課）を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署の消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	専任救助隊の発足	4月	西宮消防署の特別救助隊を専任救助隊として配置した
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した
	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定 数 改 正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服 制 改 正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品を更新）
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体 制 確 立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス(NEMIS)ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス(NEMIS)ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した(平成28年12月から文書管理システムに移行)
	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した

	支 援 車 配 置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置〔水難救助・BC災害・空気充填機〕）を配置
平成17年	救 急 隊 の 増 隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故 に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材〔野営テント他〕）を配置
	携 帯 電 話 か ら の 119 番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査 察 体 制 の 強 化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足
平成18年	全 国 共 通 波 の 整 備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬 剤 投 与 認 定 救 命 士 の 資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消 防 学 校 教 官 派 遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊 の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予 防 技 術 資 格 者 の 認 定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した（以降、順次認定）
	A E D 貸 出 事 業 開 始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
	35 m は し ご 車 配 置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車が完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成19年	備品管理システム運用 開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全 国 共 通 波 の 整 備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定 数 改 正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市 長 事 務 部 局 へ の 出 向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅 費 管 理 シ ス テ ム の 導 入	4月	旅費管理システムを導入した
	A E D 設 置 事 業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
	救 急 波 の 更 新 整 備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	キ ャ プ ス 装 置 の 導 入	2月	ポータブルキャプス「武蔵」を導入
	消 防 音 楽 隊 20 周 年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会（中核市移行記念）を挙げた
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地 震 警 報 器 の 導 入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置

	高度救助隊の発足	7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊として配置した
	キャブ装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャブ装置を導入（以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備）
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
平成21年	機構改革	4月	消防局長一次長－6課－17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した
	本部指揮隊の発足	4月	消防課に本部指揮隊を配置した
	乗換運用の解消	4月	西宮消防署北夙川分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	自主防災組織の移管	4月	自主防災組織関連事務を消防局から防災・安全局に移管した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	AED設置施設表示制度	5月	AED設置している民間事業所に、そのAEDの一般使用について協力を依頼し、AED設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成22年	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成23年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
	機構改革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した
	北部指揮隊の発足	4月	北消防署に北部指揮隊を配置した

	車両配置の再編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消防緊急情報システム更新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) Web119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(AVM装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防OA支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防OA支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入
平成24年	山口分署車庫増築	8月	北消防署山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機構改革	4月	課長補佐級制度の廃止(役名は当分の間残置)及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
平成25年	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成26年	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	乗換運用の解消	4月	鳴尾消防署浜分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	機構改革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
平成27年	阪神医療福祉情報ネットワーク	4月	「h-Anshin むこねっと」二次救急システムの運用開始
	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した
	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	通訳サービスの導入	4月	119番通報に三者通話による通訳サービスを導入
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
平成28年	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
	指導的立場の救命士	2月	指導的立場の救命士制度を導入した
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	平成28年熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日の間、11隊39人を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
平成29年	S P D 方式の導入	8月	労務負担や資機材管理リスクの軽減を図るため、救急資機材管理供給システムとしてS P D方式を導入
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した

平成30年	西宮消防70周年記念 フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行した
	消防研究センター派遣	4月	総務省消防庁消防大学校消防研究センターへ職員を派遣した（2年間）
	緊急通報システム	4月	NET119緊急通報システムの運用を開始した
	予防技術資格者区分の変更	5月	予防技術資格者区分をエキスパートとスペシャリストの2区分に変更した
	緊急消防援助隊出動	7月	平成30年7月豪雨への緊急消防援助隊として、7月12日から7月20日の間、4隊12人を広島県広島市安芸区上瀬野町に派遣した
	消防訓練施設の竣工	11月	西宮市甲子園浜2丁目10番地に西宮市消防訓練施設を竣工、運用開始
平成31年 (令和元年)	書籍化	2月	「消防活動教本」として警防活動教本を書籍化
	機構改革	4月	参事及び高度救助隊を担当する係長を配置した (1) 西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に課長級職員の参事を配置し、組織図上の表記を参事（警防第1担当）又は参事（警防第2担当）とした (2) 西宮消防署に高度救助隊を担当する係長を配置した (3) 課長補佐の役名を廃止した
	乗換運用の解消	4月	瓦木消防署甲東分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品と救急防護服を更新）
	災害医療センター職員派遣	4月	兵庫県災害医療センターへ職員を派遣した
	高機能救命ボートを導入	5月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署に高機能救命ボートを導入
令和2年	書籍化	1月	「救急KYTシート」を書籍化
	山口分署改修工事	3月	北消防署山口分署の事務室及び駐車場敷地改修工事を完了した
	指導救命士制度導入	3月	指導的立場の救急救命士として指導救命士制度を導入した
	機構改革	4月	西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に配置している参事に担当課長の役名を付し、また、北消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	乗換運用の解消	4月	北消防署山口分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	消防大学校派遣	4月	総務省消防庁消防大学校へ教官を派遣した（以降、派遣を継続）

令和3年	搬送用アイソレーター装置の導入	12月	感染防止対策として搬送用アイソレーター装置を導入し、西宮消防署に配置した
	機 構 改 革	4月	(1) 総務部企画課に施設整備係を新設した (2) 瓦木消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	救 急 隊 の 増 隊	4月	救急需要及び新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年度に限定した配置体制として、瓦木消防署甲東分署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用とした
	西宮市役所第二庁舎竣工	4月	西宮市六湛寺町8番28号に西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）竣工
	消 防 局 の 移 転	4月	西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）に消防局（消防本部）を移転し4月26日運用開始
令和4年	消防緊急情報システム更新	4月	平成23年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 防災情報システムとの連携機能を導入 (2) 指令台を増台し、ディスプレイを4画面構成に機能強化 (3) 高所カメラを増設（南部2台、北部1台） (4) 無人航空機（ドローン）を導入 (5) 車載カメラ、タブレット及びウェアラブルカメラによる情報共有機能を強化 (6) Eメール指令装置を機能強化 (7) 消防団FAX指令装置を導入 (8) 可搬型指令システムを導入 (9) リモート指令システムを導入
	電話リレーサービス	7月	119番通報に電話リレーサービスの活用を開始
	搬送用アイソレーター装置の導入	9月	感染防止対策として搬送用アイソレーター装置を導入し、鳴尾消防署に配置した
	L i v e 119の導入	10月	映像通報システム（L i v e 119）の運用を開始した
	西宮消防署消防庁舎棟竣工	12月	西宮市津門大塚町1番32号に西宮消防署消防庁舎棟竣工、令和4年2月8日運用開始
	全 面 ガ ス マ ス ク（放射線）の配置	12月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、全面ガスマスク（放射線）を配置
	鑑識室・危険物測定室運用開始	2月	西宮消防署消防庁舎棟運用開始と併せて、鑑識室・危険物測定室の運用を開始した (1) X線透過検査装置導入 (2) デジタルマイクロスコープ導入
	瓦木消防署改修工事	3月	瓦木消防署の改修工事を完了した（救急仮眠室を増設）
	人員搬送車の更新	3月	人員搬送車を緊急車両として更新し、運用を開始した
	高度救助隊の専従化	4月	西宮消防署の高度救助隊が市内全ての建物火災に出動する体制とした
車 両 配 置 の 再 編	4月	(1) 瓦木消防署甲東分署における救急隊1隊の増隊配置を終了し、瓦木消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した (2) 瓦木消防署における大型車両の駐車位置確保による庁舎の狭あい化を防ぐため、西宮消防署に化学車を配置替えた	
西宮消防署車庫・訓練棟竣工	11月	西宮消防署車庫・訓練棟（潜水プール含む）竣工、令和4年12月1日全面運用開始	

令和5年	ポンプ隊の増隊	4月	鳴尾消防署浜分署にポンプ隊1隊を配置し、全署において基本消防戦術がとれる体制を整えた
令和6年	緊急消防援助隊出動	1月	令和6年能登半島地震への緊急消防援助隊として、1月15日から2月21日の間、25隊100人を石川県輪島市等に派遣した
	建物崩壊・土砂監視センサーの配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、建物崩壊・土砂監視センサーを配置
	機構改革	4月	西宮消防署の警防救助係を警防係に改称し、高度救助係を新設するとともに、令和元年度から配置している係長（高度救助隊第1担当）及び係長（高度救助隊第2担当）を廃止した
	署指揮隊の発足	4月	西宮消防署に署指揮隊を配置した
	定年引上げによる制度改正	4月	地方公務員の定年引上げによる制度改正に伴い役職定年後の職位として主幹を新設した

所 属 別 情 勢

(令和6年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面	積	100.18 km ²		
人	口	481,134 人		
消 防 吏 員 1 人 当 り		982 人		
世 帯 数		228,970 世帯		
消 防 吏 員 1 人 当 り		467 世帯		
防 火 対 象 物 数		12,278 対象		
消 防 水 利 数		6,091 個		
消 防 吏 員 数		490 人		
保 有 車 両 数		80 台		
危 険 物 施 設 数		256 施設		
		局78人(うち女性2人)を含む 局21台を含む		
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面	積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²
人	口	164,844 人	101,525 人	63,319 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,362 人	1,238 人	1,624 人
世 帯 数		80,445 世帯	52,284 世帯	28,161 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		665 世帯	638 世帯	722 世帯
防 火 対 象 物 数		4,641 対象	3,349 対象	1,292 対象
消 防 水 利 数		2,078 個	1,230 個	848 個
消 防 吏 員 数		121 人 (うち女性4人)	82 人 (うち女性4人)	39 人
消 防 車 両 数		16 台	11 台	5 台
危 険 物 施 設 数		55 施設	48 施設	7 施設
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面	積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²
人	口	136,230 人	101,794 人	34,436 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,376 人	1,697 人	883 人
世 帯 数		66,513 世帯	50,845 世帯	15,668 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		672 世帯	847 世帯	402 世帯
防 火 対 象 物 数		3,238 対象	2,338 対象	900 対象
消 防 水 利 数		1,638 個	1,110 個	528 個
消 防 吏 員 数		99 人 (うち女性2人)	60 人 (うち女性2人)	39 人
消 防 車 両 数		15 台	9 台	6 台
危 険 物 施 設 数		120 施設	53 施設	67 施設
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面	積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²
人	口	138,309 人	90,631 人	47,678 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,426 人	1,563 人	1,223 人
世 帯 数		62,746 世帯	41,596 世帯	21,150 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		647 世帯	717 世帯	542 世帯
防 火 対 象 物 数		3,471 対象	2,449 対象	1,022 対象
消 防 水 利 数		1,521 個	896 個	625 個
消 防 吏 員 数		97 人 (うち女性4人)	58 人 (うち女性2人)	39 人 (うち女性2人)
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		22 施設	14 施設	8 施設
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面	積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²
人	口	41,751 人	25,688 人	16,063 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		439 人	459 人	412 人
世 帯 数		19,266 世帯	11,285 世帯	7,981 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		203 世帯	202 世帯	205 世帯
防 火 対 象 物 数		928 対象	325 対象	603 対象
消 防 水 利 数		854 個	470 個	384 個
消 防 吏 員 数		95 人 (うち女性1人)	56 人 (うち女性1人)	39 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		59 施設	20 施設	39 施設

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員数は、再任用、兵庫県消防学校（教官・初任教育・救急救命士）及び県防災航空隊派遣、市出向を含まない

令和 5 年度 重点目標

令和5年度は第5次西宮市総合計画の5年目で前期基本計画の最終年となることから、各施策の進捗状況等を検証しながら、後期基本計画の策定に取り組むとともに、行政経営改革の意識を持ち、機能的かつ効果的な消防行政の運営に努める。

また、新型コロナウイルス感染症を含め様々な危機事案の発生に際しては、BCP（業務継続計画）や各種行動計画等に基づき、柔軟かつ迅速に対応していく。

消防体制の強化としては、職員定数の充足に取り組み、いかなる災害等にも柔軟に対応できる人と組織をつくるため、人材育成を推進するとともに、服務規律の確保をより一層徹底して不祥事の根絶に取り組む。また、災害対応能力の強化については、部隊行動の徹底に取り組むとともに、全署において基本消防戦術がとれる体制を整えるため、鳴尾消防署浜分署へポンプ隊を配置する。さらに、医療機関と連携した救命の拠点施設となる救急ワークステーションについて、（仮称）西宮総合医療センター敷地内での整備に向けた取組を進める。

火災予防の推進としては、火災調査体制の充実を図るため、西宮消防署の鑑識室・危険物測定室を有効に活用し、火災原因の一層の究明に取り組み、類似火災の発生を防ぐ効果的な火災予防広報に繋げる。また、住宅用火災警報器の設置及び維持管理など住宅火災対策を促進するとともに、防火対象物や危険物施設に対する予防査察の執行頻度を高め、実態を把握し適切な指導を徹底することで、消防法令違反の防止や即時是正を図る。

救急活動の充実としては、救急業務を安定的かつ持続的に実施するため、救急需要の拡大に備えた運用について検討するとともに、救急教育体制を充実させ、救急業務の高度化を図る。また、救急ワークステーション完成後の運用や教育体制のあり方については、医療機関等との協力関係を前提とした効果的な仕組みを構築できるよう検討を進める。さらに、あらゆる機会を捉え、応急手当の普及促進に努め、救命効果を高めるための取組を推進する。

市民の生命、身体及び財産を守るという消防の責務に真摯に向き合い、市民の信頼に応える消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

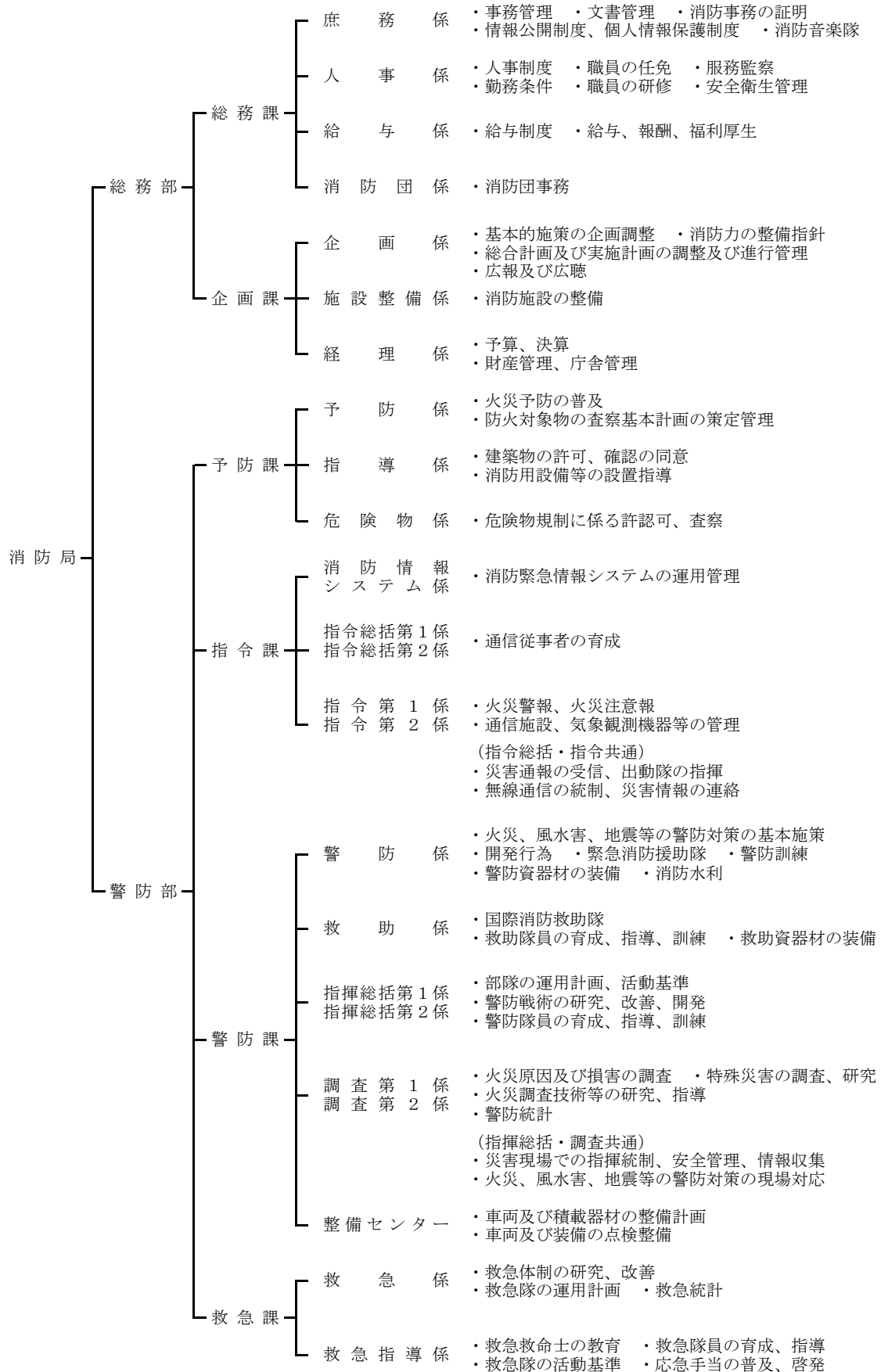
（ 重 点 目 標 ）

消防体制の強化	1 人材育成の推進 2 服務規律の確保 3 災害対応能力の強化
火災予防の推進	1 火災予防広報の推進 2 火災調査体制の充実 3 予防査察体制の強化
救急活動の充実	1 救急教育体制の充実 2 救急業務の高度化 3 応急手当の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

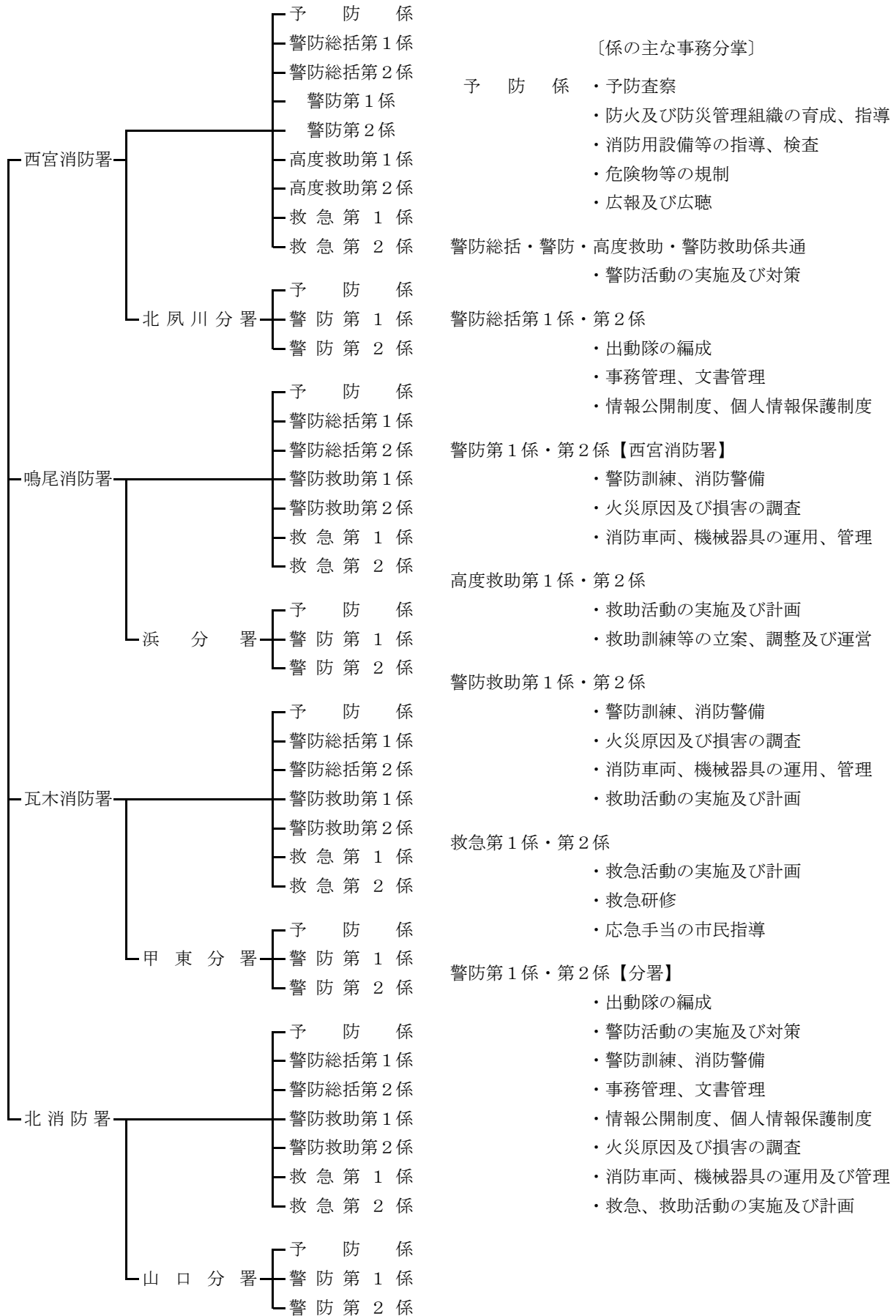
(令和6年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(令和6年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(令和6年4月1日現在)

所 属 区 分	消 防 局									西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
	局 長	総 務 部			警 防 部					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課								
配 置 人 員 (うち女性)	1	1	12 (1)	7	1	7 (1)	22	20	7	82 (4)	39	60 (2)	39	58 (2)	39 (2)	56 (1)	39
小 計 (うち女性)	1	20 (1)			57 (1)					121 (4)	99 (2)	97 (4)	95 (1)				
計 (うち女性)	490 (13) (派遣職員13名(2)を除く)																

年 度 別 職 員 数 状 況

(令和6年4月1日現在)

年 度 区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	職 員 数	434	441	449	463	477	484	495	504
採 用	14	18	23	18	19	17	20	20	8
退 職	11	15	4	5	10	9	11	9	

職 員 年 齢 状 況

(令和6年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	4	55	72	77	113	65	47	42	28

※ 職員平均 37歳7月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(令和6年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	79	80	110	92	39	41	38	18	6

※ 職員平均 15年2月

消防庁舎の概要

(令和6年4月1日現在)

庁舎名	所在地	建築年月	経過	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市六湛寺町8番28号 西宮市役所第二庁舎 (危機管理センター) 1階～3階	2021.4 (令和3.4)	3年0ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上12階建 地下1階 免震構造(中間免震)	2,435.51㎡	16,617.00㎡ のうち 消防局部分 2,529.08㎡
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1987.3 (昭和62.3)	37年1ヶ月	鉄骨造 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮市消防 訓練施設	西宮市甲子園浜2丁目 10番地	2018.10 (平成30.10)	5年6ヶ月	鉄筋コンクリート造 A棟(7階建) B棟(2階建) C棟(2階建)	8,814.89㎡	963.81㎡ A棟(571.81㎡) B棟(296.00㎡) C棟(96.00㎡)
西宮消防署	西宮市津門大塚町 1番32号	2021.12 (令和3.12)	2年4ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 5階建 免震構造(基礎免震)	3,811.37㎡	3,659.77㎡
		2022.11 (令和4.11)	1年5ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建		587.67㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町 4番4号	1984.3 (昭和59.3)	40年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町 2番12号	1980.3 (昭和55.3)	44年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		2011.2 (平成23.2)	13年2ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1999.10 (平成11.10)	24年6ヶ月	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町 15番11号	1988.9 (昭和63.9)	35年7ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 瓦木消防署部分 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上ヶ原一番町 1番64号	2018.1 (平成30.1)	6年3ヶ月	鉄骨造 3階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北消防署	西宮市名塩新町 7番地1	1991.3 (平成3.3)	33年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目 1番20号	1985.3 (昭和60.3)	39年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡

消防自動車等保有状況

(令和6年4月1日現在)

車種別 所属別		合	ポ	タ	は	化	救	活	救	司	指	指	査	人	防	連	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
		計	ン プ 車	ン ク 車	し ご 車	学 車	助 工 作 車	動 支 援 車	急 車	令 車	揮 車	揮 車	察 広 報 車	員 搬 送 車	火 指 導 車	絡 車	
計		80	10	10	4	2	4	16	14	1	2	3	8	2	1	3	25
消防局	消防局	11						5		1	1			1	1	2	3
	整備センター	10	(2)	(2)		(1)		1	(3)							1	2
西宮	本署	11	1	1	1	1	1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				3
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6	1	1				1	1				1	1			2
瓦木	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				3
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

※ ()は非常用車両

消防情勢の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消 防 職 員 数 (条 例 定 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成22年 (2010年)	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年 (2011年)	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年 (2012年)	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年 (2013年)	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年 (2014年)	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年 (2015年)	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年 (2016年)	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年 (2017年)	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年 (2018年)	484,152	220,123	100.18	522	76	97	146,023	24,723	460
令和元年 (2019年)	483,713	221,382	100.18	522	76	85	33,560	25,091	436
令和2年 (2020年)	483,744	222,844	100.18	522	77	84	137,772	21,602	450
令和3年 (2021年)	483,641	224,624	100.18	522	77	81	171,534	22,230	481
令和4年 (2022年)	482,204	225,568	100.18	522	78	77	86,839	26,468	551
令和5年 (2023年)	482,226	227,794	100.18	522	79	85	261,489	28,686	607
令和6年 (2024年)	481,134	228,970	100.18	522	80	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(令和6年4月1日現在)

区分		家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織
		クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)
西宮消防署	小計	3	29	4	187			53
	本署	2	18	2	85			30
	北夙川	1	11	2	102			23
鳴尾消防署	小計	2	18	4	239	1	28	32
	本署	2	18	4	239	1	28	17
	浜							15
瓦木消防署	小計	2	39	4	226			71
	本署	1	14	3	199			31
	甲東	1	25	1	27			40
北消防署	小計	2	49	3	97			71
	本署	2	49	1	39			58
	山口			2	58			13
合計		9	135	15	749	1	28	227

消防協力隊結成状況

(令和6年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	伊藤ハム米久フーズ株式会社 西宮工場	10
2	新明和工業株式会社	10
3	JFEアドバンテック株式会社	10
4	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
5	日本盛株式会社	10
6	株式会社指月電機製作所	34
7	大関株式会社	120
8	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	57
9	辰馬本家酒造株式会社	6
10	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	210
11	ロジスティードコラボネクスト株式会社 近畿営業所	12
12	医療法人 明和病院	10
13	鳴尾浜連絡会	300
14	株式会社甲子園オートセンター	10
15	阪急バス株式会社 山口営業所	10
16	読売ゴルフ株式会社	23
17	西宮浜産業団地協議会	741
18	一般社団法人 西宮市医師会	10
19	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
20	学校法人 関西学院	100
21	阪神流通センター協同組合連合会	97
22	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
23	株式会社 戸崎組	10
24	第一建設機工株式会社	6
25	徳山土木株式会社	20
合計	25団体 (事業所)	1,931

消 防 水 利 の 状 況

(令和6年4月1日現在)

種 別		区 分	令 和 4 年度末	令 和 5 年 度			所 属 別			
				増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満	1,932	2	1	1,933	741	429	459	304
		150mm以上	1,919	1		1,920	660	494	512	254
	私 設		168			168	13	79	70	6
	工 水		95			95	26	69		
小 計			4,114	3	1	4,116	1,440	1,071	1,041	564
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満	58		3	55	17	9	12	17
		40m ³ 以上	394	1	38	357	86	77	59	135
		60m ³ 以上	8		1	7	1	1	4	1
		100m ³ 以上	45		9	36	12	9	6	9
	私 設	40m ³ 未満	24	3		27	11	4	8	4
		40m ³ 以上	853	41	3	891	299	273	250	69
		60m ³ 以上	78	10		88	37	30	15	6
		100m ³ 以上	76	10		86	20	44	17	5
小 計			1,536	65	54	1,547	483	447	371	246
消 防 用 水	40m ³ 未満		1			1		1		
	40m ³ 以上		17			17	2	9		6
	60m ³ 以上		18			18	6	11	1	
	100m ³ 以上		28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設		10		1	9	6	3		
	私 設		9			9	2	7		
貯 水 槽	公 設									
	私 設		119	1		120	62	21	28	9
そ の 他 の 水 利	受 水 槽		22			22	11	5	4	2
	河 川		92			92	33	12	36	11
	海 水		8			8		8		
	池		17	1		18	6	5	2	5
	プ ー ル		84			84	24	28	24	8
	マンホール		1			1		1		
	溝 水			1		1				1
合 計			6,076	71	56	6,091	2,078	1,638	1,521	854

開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数	41	水利あり	水利なし	開発事前協議	85					
		11	30							
消 防 水 利										
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利			
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 ル 口	池	そ の 他
小計	2		9	6	1			5		
合計	23									

消防相互応援協定締結状況

(令和6年4月1日現在)

名称	締結都市等	応援区域	締結年月日
7市1町消防相互応援に関する覚書	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	各市町全域	平成13年3月1日
兵庫県道高速北神戸線上の消防相互応援に関する覚書	宝塚市	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域	平成15年4月21日
兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	尼崎市	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	平成6年3月15日
	芦屋市	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	平成6年3月25日
名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)	尼崎市・豊中市	西宮IC、豊中IC間の名神高速道路上	昭和39年8月31日 (協定) 昭和39年9月5日 (覚書)
神戸市・西宮市消防相互応援協定(同覚書)	神戸市	西宮市、神戸市域	平成19年1月18日 (協定) 平成19年1月18日 (覚書)
中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	中国道のうち兵庫県の区域	平成27年9月26日 (協定) 平成29年2月6日 (覚書)
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	各市全域	平成26年1月31日 (協定) 平成26年1月31日 (覚書)
兵庫県広域消防相互応援協定(同覚書)	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	兵庫県下	平成25年10月23日 (協定) 令和5年3月7日 (覚書)
山陽自動車道消防相互応援協定(同覚書)	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	神戸JCTから備前ICまでの区間(三木JCTから神戸西ICまでの区間及び播磨自動車道を含む)	平成30年4月1日 (協定) 平成29年2月6日 (覚書)
近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、猪名川町、宝塚市、三田市、神戸市	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域	平成30年3月18日 (協定) 平成30年3月18日 (覚書)
大阪市、西宮市消防相互応援協定(同覚書)	大阪市	兵庫県道高速大阪西宮線下り尼崎市、西宮市境界から西宮入口までの区域 大阪府道高速湾岸線上り大阪市、尼崎市境界から中島入口までの区域	令和4年3月18日 (協定) 令和4年3月18日 (覚書)

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



瓦木消防署



西宮消防署



鳴尾消防署



西宮市消防訓練施設



西宮消防署北夙川分署



西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）
西宮市消防局



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署

総

務



兵庫県消防学校 初任教育「査閲」

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、水槽付消防ポンプ自動車1台及び高規格救急自動車1台を更新するとともに、資機材では、熱画像直視装置2基、危険物同定装置1式及び地震警報器1基を整備し、消防力の充実強化を図った。

消防庁舎等整備事業として、(仮称)西宮総合医療センター敷地内において救急ワークステーションの整備に向けた取組を進めた。

消防団車庫整備事業として、夙川分団車庫の建替工事に伴う設計を実施するとともに、鳴尾東団車庫の建替用地を取得し、消防団の体制整備に努めた。

2 研修

災害が多種多様化する社会情勢の中で、市民の生命、身体及び財産を守るためには、いかなる災害等にも柔軟に対応できる人と組織をつくることが必要不可欠である。そのため、消防大学の幹部科、指揮隊長コース及び査察マネジメントコースに職員を派遣し、様々な分野で高度な専門教育を受けるとともに、兵庫県消防学校等においても、多種多様な教育課程に職員を派遣し、知識及び技術を習得することにより、組織力の維持向上に努めた。

加えて、市研修厚生課予算では、予防行政執行能力向上研修及び認定機関員節目研修等を行い、各専門分野における知識及び技術の向上を図るとともに、公務員倫理研修、メンタルヘルス研修及び公務員倫理指導者養成研修等にも職員を派遣することで、人材育成につなげた。

消防局内の研修においても、各課で担当分野の研修を効果的に行い、必要な知識の習得に努めた。

3 事務管理

消防行政の公正な運営を確保するため、西宮市消防文書取扱規程及び関係条例等に基づき、適正な文書管理に努めた。

また、職員用ノートパソコン等、OA機器の効果的な配置及び文書管理システムの有効活用により、適正な事務管理に努めた。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
消防費	6,624,099	6,277,651	346,448
消 防 費	5,533,344	5,510,240	23,104
職 員 の 給 与 費	4,754,030	4,692,242	61,788
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費	14,364	21,900	△ 7,536
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費	134,114	119,747	14,367
通 信 指 令 業 務 経 費	379,210	371,432	7,778
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費	51,010	89,304	△ 38,294
消 防 活 動 業 務 経 費	39,830	44,732	△ 4,902
救 助 活 動 業 務 経 費	5,286	6,021	△ 735
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費	59,639	68,098	△ 8,459
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費	520	558	△ 38
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費	1,369	1,869	△ 500
救 急 活 動 業 務 経 費	31,762	32,821	△ 1,059
一 般 事 務 経 費	62,210	61,516	694
消 防 団 費	139,135	131,662	7,473
消 防 団 運 営 事 業 経 費	131,626	125,350	6,276
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費	7,509	6,312	1,197
消 防 施 設 整 備 費	882,961	566,968	315,993
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費	46,342	21,931	24,411
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費	80,139	15,000	65,139
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費	65,805	19,487	46,318
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費	596,284	437,850	158,434
消 防 水 利 等 整 備 事 業 費	88,000	65,000	23,000
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費	6,391	7,700	△ 1,309
水 防 費	68,659	68,781	△ 122
水 防 対 策 事 業 経 費	68,659	68,781	△ 122

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

年度別		区分	市一般会計	消防費	比 率
			(千 円)	(千 円)	(%)
平成27年度	当 初 予 算		174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算		170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算		174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算		166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算		176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算		169,364,942	6,190,503	3.66
平成30年度	当 初 予 算		178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算		172,675,344	6,003,544	3.48
令和元年度	当 初 予 算		184,073,481	5,725,540	3.11
	決 算		175,091,370	5,487,523	3.13
令和2年度	当 初 予 算		193,080,562	6,601,294	3.42
	決 算		235,208,367	6,179,310	2.63
令和3年度	当 初 予 算		193,856,204	7,839,879	4.04
	決 算		204,934,201	7,473,661	3.65
令和4年度	当 初 予 算		195,828,360	7,071,686	3.61
	決 算		200,591,168	6,753,174	3.37
令和5年度	当 初 予 算		195,231,848	6,277,651	3.22
	決 算		(未決算)	(未決算)	(未決算)
令和6年度	当 初 予 算		203,209,758	6,624,099	3.26
	決 算		-	-	-

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

年度別		消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
					市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成27年度		5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度		5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度		6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821
平成30年度		6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270
令和元年度		5,725,540	483,713	221,382	11,837	25,863
令和2年度		6,601,294	483,744	222,844	13,646	29,623
令和3年度		7,839,879	483,641	224,624	16,210	34,902
令和4年度		7,071,686	482,204	225,568	14,665	31,351
令和5年度		6,277,651	482,226	227,794	13,018	27,558
令和6年度		6,624,099	481,134	228,970	13,768	28,930

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和5年度中)

階 級 研 修 名		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	
消 防 大 学 校	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	1	1						
	専科教育科 新任教官科	2		2					
	総合教育科 幹部科	1		1					
	その他 査察マネジメントコース	1		1					
	消防大学校特別講習会	1				1			
県 消 防 学 校	初任教育	20					20		
	専科教育	救助科	2				2		
		救急科	18					18	
		火災調査科	2			2			
		特殊災害科	2			2			
		予防査察科	2				2		
	特別教育	通信指令科	1			1			
		災害現場指揮科	2		2				
		潜水科	2				2		
	幹部教育	上級幹部科	1	1					
		初級幹部科	2				2		
	その他	惨事ストレス研修	2	1		1			
	救急救命士養成課程	3				2	1		
	指導救命士養成研修	1		1					
ポンプ操法研修	1				1				
実火災体験型訓練コース	10				3	2	5		
神戸市消防学校 特殊災害課程	1				1				
令和5年度消防職員安全衛生管理研修会	2	1	1						
消防職員のための惨事ストレスの理解と予防(ステップアップ)研修	2	1	1						
令和5年度消防長研修会	1	1							
令和5年度公務災害補償事務担当者研修会	1				1				
ハラスメント等相談窓口相談員向けWeb研修会	1				1				
わかりやすいホームページコンテンツづくり研修	1				1				
消防本部等における採用広報担当者を対象とした研修会	1				1				
2級小型船舶操縦士免許試験受験及び準備講習会	1					1			
2級小型船舶操縦士免許更新講習	3				2	1			
大型自動車第一種免許取得のための教習	1						1		
中型自動車第一種免許のための教習	8					1	7		
玉掛け技能講習	2					2			
酸素欠乏・硫化水素作業主任者	1					1			
潜水士免許試験受験	1						1		
第一種衛生管理者試験受験	2	1	1						
3級自動車シャシ整備士講習会及び受験	1				1				
令和5年度総務関係実務研修会及び消防財政実務研修会	7		3		4				
違反是正事例発表会	5				2		3		
日本火災学会研究発表会	1				1				
建築防火・防災WEB講習	1		1						

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和5年度中)

階 級 研 修 名	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
令和5年度違反是正推進部会阪神ブロック部会	5		3	1	1		
火 災 科 学 セ ミ ナ ー	6		1	1	3	1	
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2023	1			1			
Zoomによるオンラインセミナー「やさしく学べる建築法規シリーズ/建築物の防火・避難施設編」	1		1				
令和5年度「違反是正の推進に係る事務研修【区分C】」	2		2				
令 和 5 年 度 危 険 物 等 安 全 管 理 研 修 会	1			1			
令 和 5 年 度 安 全 講 演 会	2		2				
建築物の防火避難規定の解説2016 (第2版) 講習会	1		1				
令 和 5 年 度 危 険 物 事 故 防 止 講 習 会	1			1			
令 和 5 年 度 企 業 防 災 対 策 指 導 研 修 会	2		1	1			
第 6 回 通 信 指 令 シ ン ポ ジ ウ ム	1				1		
整 備 主 任 者 研 修	3			2			1
緊 急 車 両 指 導 者 特 別 研 修	1			1			
火 災 調 査 担 当 者 会 議	1			1			
国 際 消 防 救 助 隊 セ ミ ナ ー	1			1			
大 阪 市 消 防 局 国 際 消 防 救 助 隊 員 研 修	2			2			
J I R A A 検 定 R e s c u e C	1			1			
F F S 1 (ファイヤーファイターサバイバル)	1			1			
火 災 戦 術 講 習	4			4			
近 畿 救 急 医 学 研 究 会 救 急 隊 員 部 会	12		2	3	2	5	
阪 神 ・ 丹 波 地 域 メ デ ィ カ ル コ ン ト ロ ール 協 議 会 救 急 隊 員 研 修 会	134	1	16	41	43	27	6
阪 神 地 区 消 防 長 会 救 急 隊 員 研 修 会	227		29	51	59	72	16
周 産 期 対 応 特 別 救 急 研 修	2			1		1	
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 管 理 責 任 者 講 習 会	1	1					
全 国 救 急 隊 員 シ ン ポ ジ ウ ム	1			1			
合 計	535	9	72	141	128	162	23

(派遣研修) その2

(令和5年度中)

階 級	研 修 名	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 厚 生 課 等 研 修	ステップアップ研修（公務員倫理）	37				2	35	
	ステップアップ研修（メンタルヘルス）	52					52	
	公務員倫理指導者養成研修	1	1					
	兵庫県市町村振興協会 「パソコン研修」	5				2	3	
	令和5年度安全運転講習会	1				1		
	令和5年度パソコン研修	2					1	1
	令和5年度課長第1部研修（春期）	2	2					
	令和5年度課長第2部研修	4	4					
	令和5年度課長第1部研修（秋期）	2	2					
	令和5年度係長第1部研修	3		3				
	令和5年度係長第1部研修 （法律）	4		4				
	令和5年度係長第1部研修 （マネジメント）	3		3				
	令和5年度係長第2部研修（OJT研修）	4		4				
	指導力向上研修	15		3	3	9		
	火災予防行政執行能力向上研修	45	1	9	8	12	15	
	兵庫県自治研修所 「リスクマネジメント研修」	1		1				
	認定機関員節目研修	18				3	15	
	兵庫県市町村振興課 「実務担当者研修」	5		3	2			
	兵庫県市町村振興課 「公共施設ファシリティ・マネジメント研修」	1			1			
	係長級職員必修研修「ハラスメント防止研修」	68		68				
合 計		273	10	98	14	29	121	1

(職場研修)

(令和5年度中)

研修名	階級	実施回数	受講者	消防司令長以上	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	その他職員
総務課	条件付採用時研修	1	20					20	
	新任課長級特別研修	1	2	2					
	新任係長級特別研修	1	4		4				
	採用後定時研修(3年目)	1	18					18	
	採用後定時研修(5年目)	1	16					16	
	令和5年度採用者に対する特別研修	1	20					20	
	昇任予定者研修	2	23				9	14	
	モチベーション向上研修	1	55			8	14	33	
	職務研修	1	17					17	
企画課	財務事務研修(基本編)	1	16		8	8			
	財務事務研修(予算編)	1	12		4	8			
予防課	予防事務調査研究会	4	29				10	19	
	予防実務研修	1	8			2	6		
指令課	新規指令課異動者研修	89	175		58	117			
	指令課実務研修	11	11				4	7	
	マニュアル指令訓練	6	47		10	24	9	4	
	非常招集伝達訓練	4	567	38	89	132	140	162	6
	口頭指導に係る救急研修 (口頭指導シミュレーション含む)	123	755		141	392	157	65	
	口頭指導研修(外部講師による研修)	2	23	1	5	11	4	2	
	可搬型指令システム取扱訓練	2	23	1	5	11	4	2	
	北消防署集中受信訓練	4	100		14	29	24	33	
	通信研修	2	40	1	5	17	15	2	
	リモート指令操作訓練	2	25	1	6	12	4	2	
	エリア災害訓練	4	30		5	18	4	3	
大規模災害初動対応訓練	2	51	12	12	19	6	2		
警防課	緊急消防援助隊に関する研修会	2	27	1	5	5	13	3	
	整備研修	6	6				1	5	
	任命調査員研修	5	48			1	21	26	
	火災調査研修	1	16		1	12	3		
	新規潜水士免許取得者実技研修	1	8					8	
	救助活動研修(水難)	1	21			2	9	10	
	新規救助小隊長研修	1	6				6		
	火災対応救助研修	1	16				7	9	
	自動注射器研修	1	22		2	4	13	3	
	警防課実務研修	9	9				5	4	
	警防活動研修	1	64			2	21	41	
火災性状に関する研修会	1	56	1	22	33				
救急課	救急救命士就業前研修	1	5				2	3	
	救急救命士定期研修	1	242		22	61	105	54	
	救急救命士事前研修	1	3				1	2	
	救急隊員現場実習研修	3	9		1	2	3	3	
合計		304	2,645	58	419	930	620	612	6

消防吏員階級別資格取得状況

(令和6年4月1日現在)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
種 別									
消 防 吏 員 数		503	29	70	102	129	173		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	47		7	14	21	5	
		乙 種	108	9	19	18	40	22	
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	7		1	2	4		
		乙 種	445	16	49	130	128	122	
		丙 種	34	15	8	3	7	1	
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員	112		13	25	45	29	
		消 防 用 設 備 等 専 門 員	68	2	13	17	27	9	
		危 険 物 専 門 員	75	2	15	21	28	9	
	通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	495	29	70	102	129	165	
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	224	18	52	54	67	33
			2 種	1				1	
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	263	11	18	40	63	131
			2 種	15	4	7	3		1
	自 動 車 整 備 士	2 級	5		2	3			
		3 級	27	3	8	8	7	1	
救 急	救 急 隊 員		495	29	70	102	129	165	
	救 急 救 命 士		129	10	17	31	43	28	
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		72	6	15	29	22		
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		113	6	15	31	40	21	
	拡 大 二 行 為 認 定 救 急 救 命 士		107	2	15	31	39	20	
	ビ デ オ 喉 頭 鏡 認 定 救 急 救 命 士		64	3	15	28	18		
	指 導 救 命 士		8	1	7				
救 助	救 助 隊 員		197		3	58	53	83	
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		126	9	24	44	31	18	
	潜 水 士		236	18	49	61	56	52	
	酸 欠 講 習 修 了 者		112	8	27	29	33	15	
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		62	12	24	14	11	1	
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		136	9	22	41	40	24	
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		4	1	2		1		
	小 型 船 舶 操 縦 士 2 級 (旧 4 級) 以 上		97	10	32	27	21	7	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		50	24	20	6			
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		10	5	5				
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		9		1	6	2		

公務災害等発生状況

(令和5年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階級別						傷病程度別								
				消防監以上	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	その他職員	療養			入院			死亡	
											一週間未満	一週間～一月	一月～三月	三カ月以上	一週間未満	一週間～一月		一月～三月
公務災害	現場活動中	火災																
		救急																
		救助																
		その他害																
		水防																
	訓練中	2	2					1	1		1			1				
	一般業務中	1	1						1			1						
その他																		
通勤災害		4	4		1	1					1	2		1				
合計		7	7		1	1		1	4		1	1	3	1	1			

消防表彰等の状況

(令和5年度中)

			個人	団体
職員	市長表彰	永年勤続職員	6	
	消防庁長官表彰	功 勞 章	2	
		消防防災科学技術賞		1
		永年勤続功労章	3	
	兵庫県知事表彰	功 勞 章	6	
		永年勤続功労章	6	
		救急医療・救急業務功労者	1	
	全国消防長会会長表彰	永年勤続功労者	16	
	全国消防協会会長表彰	全国優良消防職員	1	
	市医師会会長感謝状	救急業務功績	1	
	局長・部長・署長表彰	勤務成績優秀表彰	36	
		優秀機関員表彰	51	
		救助活動表彰		2
		救急活動表彰		1
		消防業績表彰	3	
兵庫県自動車整備技術講習所	優 秀 生 表 彰	1		
西宮夙川ロータリークラブ	優 良 消 防 士	4		
市民	消防局長表彰	人命救助表彰	4	2
		消防業務協力	11	4
	消防署長表彰	人命救助表彰		
		消火協力表彰	5	

広報及び広聴



消火器ケーキによる火災予防広報

広報及び広聴の概要

1 広報

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の情報を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、年間広報計画及び広報広聴ガイドラインに基づき、市政ニュース、テレビ、新聞その他広報媒体を活用した消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・YouTube・X等のSNSでも消防広報を実施した。

2 広聴

広聴については、広聴機会の充実と利便性の向上を目的に、令和3年度から全庁的な取組として導入された「市民の声システム」を引続き適切に運用するとともに、市民からの問い合わせ等を迅速かつ的確に処理して、市民サービスの向上及び消防への信頼確保に努めた。

このうち、消防に関する提案や要望、意見等の広聴件数は8件で、内訳は、総務2件、指令1件、救急5件となっている。

広報活動状況

(令和5年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	389		1,216	391時間45分
消 防 教 室	328	33,618	1,184	362時間31分
幼年消防クラブ活動	47	6,474	228	55時間10分
少年消防クラブ活動	6	161	23	6時間15分
家庭防火クラブ活動	14	193	38	23時間30分
自主防災組織	137	8,937	480	87時間40分
合 計	921	49,383	3,169	926時間51分

資料配布及び刊行物発行

(令和5年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	2,026	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設
防 災 冊 子 等	628	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設

広 聴 事 務 処 理 状 況

(令和5年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	2
	企 画	
	予 防	
	指 令	1
	警 防	
	救 急	5
合 計		8

消 防 情 報 の 提 供 (報 道 機 関 等)

(令和5年度中)

情報提供先	区 分	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ他)		40	10	14	5	11
市広報紙等 (市政・庁内ニュース他)		103	36	12	5	50
ホームページ		200	46	81	21	52
合 計		343	92	107	31	113

予 防 行 政



自衛消防隊消防操法大会

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器について、未設置住宅や条例の設置基準に適合していない住宅に対して、設置の徹底を働きかけ、また、既に設置されている住宅については、作動確認を行い、電池切れの場合は速やかに交換する等、適切な維持管理を呼びかけた。

また、火災発生時に人命危険が高い高齢者等に対しては、住宅防災診断を通じて、住宅防火に関する知識の普及を図るとともに、住宅用火災警報器の取付けが困難な世帯に、取付けの支援を行い、設置促進を図った。

2 予防広報の推進

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、こんろ火災、放火火災、その他火災発生の上位を占める原因や特に注意喚起すべき情報について、市政ニュース、ホームページなどの広報媒体を活用し、類似火災発生未然防止を図った。

また、住宅用火災警報器の奏功事例、住宅用消火器等の住宅用防災機器に関する情報等、火災から身を守るための情報を併せて発信することで、防火意識の高揚を図った。

さらに、こんろ火災の注意喚起及び住宅用火災警報器の設置・維持管理に関する映像を中心に市内各地で放映することで、住宅防火対策の強化を図った。

3 予防査察体制の充実強化

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である重大な消防法違反がある防火対象物をはじめ、5年を超えて消防用設備等点検結果報告がなされていない特定防火対象物や防火管理者未選任の特定防火対象物に対して優先的に査察を行うとともに、各消防署管内の防火対象物数等に差があることから、これを平準化して効率的に執行していくため、管轄を超えた査察支援体制を整えることにより、消防用設備等の設置・維持管理及び防火管理体制の確立を徹底した。

さらに、重大な消防法違反のある防火対象物に対しては、公表制度に基づき、利用者の安全を確保するとともに、機を逸することなく早期の是正を図った。

危険物施設については、施設の位置、構造、設備及び危険物の貯蔵、取扱いについて、法令基準に適合しているか着目し査察を行った。

防火対象物現況表

(令和6年4月1日現在)

用途別		所属別	合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東東署	本署	山口分署
合計			12,278	3,349	1,292	2,338	900	2,449	1,022	325	603
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	9	6				1			2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	6		1		1	1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0								
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1				1			1
3項	イ	待合・料理店等	0								
	ロ	飲食店	131	58	9	10	9	25	2	2	16
4項		百貨店・市場・マーケット等	236	63	24	47	16	51	14	3	18
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	26	6	1	6	1		8	3	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,496	1,660	779	1,234	286	1,537	678	165	157
6項	イ	病院・診療所・助産所	134	36	15	39	4	21	8	4	7
	ロ	老人短期入居施設等	158	31	12	21	17	33	12	10	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	248	68	22	44	17	53	13	14	17
	ニ	幼稚園・特別支援学校	71	15	8	10	3	23	8	2	2
7項		小・中・高・大・各種学校	451	47	53	125	25	78	103	13	7
8項		図書館・美術館等	20	2	3	1	7		6	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	3		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	10	5		3		1		1	
11項		神社・寺院・教会等	143	55	15	12	9	24	15	5	8
12項	イ	工場・作業場	362	73	8	84	114	32		10	41
13項	イ	自動車車庫・駐車場	243	56	8	71	48	19	1	19	21
14項		倉庫	462	65	3	84	119	26	3	6	156
15項		前各項に該当しない事業所	919	283	56	151	133	133	37	50	76
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,209	425	196	225	37	226	61	10	29
	ロ	イ以外の複合用途対象物	912	382	79	165	55	162	41	7	21
17項		重要文化財等	14	1				1	11		1
18項		50 m以上のアーケード	2	2							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(令和6年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0			0			0		
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	6	2	8	6	2	8	6	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0			0			0		
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	3		3	3		3	3	
3項	イ	待合・料理店等	0			0			0		
	ロ	飲食店	116	57	59	114	56	58	114	56	58
4項		百貨店・市場・マーケット等	172	123	49	164	116	48	164	116	48
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	17	17		17	17		17	17	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,341	1,341		1,299	1,299		1,291	1,291	
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	57	2	58	56	2	58	56	2
	ロ	老人短期入居施設等	133	133		125	125		124	124	
	ハ	老人デイサービスセンター等	133	118	15	130	115	15	130	115	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	39	37	2	39	37	2	39	37	2
7項		小・中・高・大・各種学校	125	118	7	98	93	5	98	93	5
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0			0			0		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	2	2	4	2	2	4	2	2
10項		車両の停車場、船舶の発着場	2	2		2	2		2	2	
11項		神社・寺院・教会等	67	53	14	62	49	13	62	49	13
12項	イ	工場・作業場	55	55		54	54		53	53	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	0			0			0		
14項		倉庫	40	40		38	38		38	38	
15項		前各項に該当しない事業所	269	223	46	257	214	43	256	213	43
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	839	745	94	729	638	91	719	628	91
	ロ	イ以外の複合用途対象物	205	194	11	188	178	10	185	175	10
17項		重要文化財等	0			0			0		
合計			3,644	3,339	305	3,406	3,113	293	3,382	3,089	293

防火対象物査察・検査実施状況

(令和5年度中)

用途別		区分	査察状況(※1)		消防用設備検査(※2)	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	6	2	2
	ロ	公会堂・集会場	8	12	2	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	111	67	10	3
4項		百貨店・市場・マーケット等	232	96	17	6
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	24	2	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,480	2,376	293	136
6項	イ	病院・診療所・助産所	132	55	11	7
	ロ	老人短期入居施設等	150	84	31	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	194	94	23	16
	ニ	幼稚園・特別支援学校	71	49	9	6
7項		小・中・高・大・各種学校	449	258	41	17
8項		図書館・美術館等	20	11	3	1
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	2		
10項		車両の停車場、船舶の発着場	10	1		
11項		神社・寺院・教会等	140	83	4	
12項	イ	工場・作業場	362	137	30	10
13項	イ	自動車車庫・駐車場	226	112	12	5
14項		倉庫	456	194	38	15
15項		前各項に該当しない事業所	893	411	71	20
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,202	420	117	72
	ロ	イ以外の複合用途対象物	911	330	57	22
17項		重要文化財等	14	14		
18項		50m以上のアーケード	2			
合計			12,104	4,840	773	360

※1 国の調査報告要領に従い17項及び18項以外は延べ面積150㎡以上のものを計上

※2 消防法第17条の3の2により消防用設備等の検査が義務付けられている防火対象物を計上

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(令和6年4月1日現在)

用途別		区分	合計 (棟)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17~31	10階 以下 で31 m以 上の もの
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	2	1													1
	ロ	公会堂・集会場	2	1	1												
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0														
	ロ	遊技場・ダンスホール	0														
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0														
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	1		1												
3項	イ	待合・料理店等	0														
	ロ	飲食店	9	5	1	1	1	1									
4項		百貨店・市場・マーケット等	2	2													
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8		2	1	2	1					1				1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,782	707	390	283	83	45	70	59	23	20	47	31	2	7	15
6項	イ	病院・診療所・助産所	20	7	8	1					1	1					2
	ロ	老人短期入居施設等	28	18	7	1							1				1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	1												
	ニ	幼稚園・特別支援学校	0														
7項		小・中・高・大・各種学校	50	31	11	1					1	1					5
8項		図書館・美術館等	0														
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0														
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	0														
10項		車両の停車場、船舶の発着場	0														
11項		神社・寺院・教会等	5	2	2												1
12項	イ	工場・作業場	23	14	5												4
13項	イ	自動車車庫・駐車場	8	1	1	1											5
14項		倉庫	15	6	3	4											2
15項		前各項に該当しない事業所	73	44	14	6	1				1						7
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	256	138	55	24	12	3	3	1	1	2	4			8	5
	ロ	イ以外の複合用途対象物	248	114	62	30	10	10	4	5	4	1	2	1		2	3
17項		重要文化財等	0														
18項		50 m以上のアーケード	0														
合計(棟)			2,536	1,094	564	353	109	60	77	65	31	25	55	32	2	17	52

防火管理に関する講習の実施状況

(令和5年度中)

講習区分	講習回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	8	456
甲種防火管理再講習	1	21
防火防災管理新規講習	1	22
防火防災管理再講習	1	8

建築物確認申請等処理状況

(令和5年度中)

合計	新築	増築	改築	修繕	模様替	用途変更	その他
380	313	4	1			2	60

12条報告・仮使用承認等処理状況

(令和5年度中)

所属別 処理別	合計	消防局	西宮消防署	鳴尾消防署	瓦木消防署	北消防署
12条報告等協議	8	8				
仮使用承認の協議						

危険物製造所等設置許可数

(令和6年4月1日現在)

合 計		261	構成比(100%)
製 造 所		3	1.1%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	54	20.7%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	0.4%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10	3.8%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	59	22.6%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	7	2.7%
	屋 外 貯 蔵 所	6	2.3%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	83	31.8%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.8%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	36	13.8%

危険物製造所等類別設置許可数

(令和6年4月1日現在)

種 別		合 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在
施設別									
合 計		261	1			258			2
製 造 所		3				3			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	54	1			51			2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1				1			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10				10			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	59				59			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	0							
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	7				7			
	屋 外 貯 蔵 所	6				6			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	83				83			
	第 1 種 販 売 取 扱 所	0							
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所	0							
	一 般 取 扱 所	36				36			

所属別危険物施設等現況及び査察状況

(令和5年度中)

施設別 所属別		政 令 危 険 物														少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物	
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所							
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般			
合 計		256	3	53	1	10	57	0	6	6	82	0	2	0	36	480	154	
消 防 局		38							6		32							
危険物施設等現況	西	本 署	40		8	1	2	14			1	3		2		9	117	17
	宮	北 夙 川 分 署	4		1		1	1								1	15	1
	鳴	本 署	48	1	10			17			1	8				11	99	54
	尾	浜 分 署	64	2	19		4	9			2	16				12	110	33
	瓦	本 署	10		5			3				1				1	42	3
	木	甲 東 分 署	8		2		3	1				1				1	12	
	北	本 署	11		2			3			2	3				1	22	
	北	山 口 分 署	33		6			9				18					63	46
	査 察 実 施 数		247	2	34	2	7	49	0	13	2	100	0	1	0	37	163	40
	消 防 局		70							6		64						
査察状況	西	本 署	44		7	2	2	13			1	7		1		11	44	11
	宮	北 夙 川 分 署	7		1		1	4								1	5	1
	鳴	本 署	28		4			11			1	2				10	24	9
	尾	浜 分 署	47	2	11		3	9			1	9				12	43	2
	瓦	本 署	7		2			2			1	1				1	7	
	木	甲 東 分 署	6		2		1				1	1				1	2	
	北	本 署	13		1			3			2	2	4			1	15	
	北	山 口 分 署	25		6			7				12					23	17

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(令和5年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小 計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
	0				

0	水 圧 検 査				
	小 計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	0				

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(令和5年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
41	10	31

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	482	154	14	8	47	14	255	12

住宅防災診断実施状況

(令和5年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			2,142
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問診断小計
	916	1,226	2,142
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
	94		94

住宅防災診断指導件数

(令和5年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	294
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	202
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、こまめに掃除しましょう。	94
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	16
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	33
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	32
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	29
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	11
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物を置かないようにしましょう。	24
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	8
消火器は必ず設置しておきましょう。	399
消火器の使い方を覚えておきましょう。	174
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	34
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	12
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	29
地震の揺れにより家具類が転倒・落下し怪我をしたり逃げ道をふさがれたりします。ぜひ対策しておきましょう。	221
いざという時のために非常持ち出し袋を用意しておきましょう。	264
避難生活や断水に備えて水を3日分は準備しておきましょう。	204
特に津波が発生した場合は避難が重要となります。地域の指定避難場所や津波避難ビルの場所を確認しておきましょう。	99
学校や勤務先などで被災した場合、誰がどこに避難するのかどのように連絡を取り合うのかなどを話し合っておくことで、安否確認がスムーズにできます。	168

火災統計



阪神地区消防長会 警防練成会

火災の概要

1 概況

令和5年中の火災は、85件で前年77件と比べ8件増加している。これは、過去10年間では、4番目に少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が51件（前年37件）、林野火災が1件（前年0件）、車両火災が9件（前年8件）、船舶火災が1件（前年0件）、その他火災が23件（前年32件）となっている。

焼損棟数は57棟（前年44棟）、り災世帯数は51世帯（前年45世帯）、り災人員は91人（前年102人）、焼損面積は930㎡（前年449㎡）、火災損害額は2億6,148万9千円（前年8,683万9千円）となっている。火災損害額を1件あたりに換算すると307万6千円（前年112万8千円）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

令和5年中の火災は、4.3日に1件の割合で発生している（前年4.7日に1件）。人口1万人当りの出火件数は、1.8件（前年1.6件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、51件（60%）で最も多く、その他火災が23件（27%）、車両火災が9件（11%）、林野火災が1件（1%）、船舶火災が1件（1%）となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、1月が15件と最も多く発生し、続いて4月の10件、7月の9件となっている。出火件数の少ない月は、9月の3件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、木曜日が16件と最も多く、続いて火曜日が14件、月曜日が13件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、金曜日の2件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、16時台が10件と最も多く、続いて20時台が8件、1時台及び10時台が6件となっている。0時台、3時台及び4時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が26件、鳴尾消防署が26件、瓦木消防署が23件、北消防署が10件となっている。

3 死者

火災による死者は、1人（前年2人）である。

死者の年齢は、65歳以上が1人となっている。

死者の発生した経過については、たばこによるものである。

4 負傷者

火災による負傷者は10人で、前年23人と比べ13人減少している。

負傷者の年齢は、65歳以上の方が5名で全体の50%を占めている。

負傷者が生じた内訳は、消火中が6人、その他が2人、避難中及び作業中が1人となっている。

負傷程度は、重症1人、中等症1人、軽症8人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は、57棟で前年44棟と比べ13棟増加している。

内訳は、全焼2棟（前年2棟）、半焼1棟（前年4棟）、部分焼9棟（前年8棟）、ぼや45棟（前年30棟）となっている。

6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は51世帯で、前年45世帯と比べ6世帯増加し、リ災人員は91人で、前年102人と比べ11人減少している。

内訳は、全損4世帯4人、小損47世帯87人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は、930㎡で、前年449㎡と比べ481㎡増加している。

8 出火原因

出火原因は、「たばこ」が17件で最も多く、続いて、「こんろ」12件、「放火（放火の疑い含む）」11件の順となっている。

（1）第1位「たばこ」

たばこによる出火件数は17件で、焼損面積が609㎡（前年0㎡）、焼損表面積が19㎡（前年0㎡）、損害額が2億4,864万円（前年1万6千円）となっている。

経過別に見ると、「不適當なところに捨てる」が13件（前年14件）で最も多く、主にたばこの不始末が原因となっている。

（2）第2位「こんろ」

こんろによる出火件数は12件で、焼損面積が2㎡（前年0㎡）、焼損表面積が0㎡（前年14㎡）、損害額が7万5千円（前年2万5千円）となっている。

経過別に見ると、「放置する・忘れる」が4件（前年2件）と最も多く、こんろを火にかけたが放置したことによるものである。

（3）第3位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は11件で前年9件と比べ2件増加している。内訳は、建物火災が5件（前年2件）、車両火災が1件（前年0件）、その他火災が5件（前年7件）となっている。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、日曜日、水曜日、木曜日が2件となっている。また、時間別では、20時台の2件が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は、2億6,148万9千円で、前年8,683万9千円と比べ1億7,465万円増加している。

また、建物損害額は、損害総額の99%に当たる2億5,770万8千円で、前年7,317万円と比べ1億8,453万8千円増加している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	令和5年 A	令和4年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)	
出火件数		件	85	77	8	10.4	
火災種別	建物火災	件	51	37	14	37.8	
	林野火災		1		1	100.0	
	車両火災		9	8	1	12.5	
	船舶火災		1		1	100.0	
	航空機火災						
	その他火災		23	32	△ 9	△ 28.1	
焼損棟数	合計	棟	57	44	13	29.5	
	全焼		2	2			
	半焼		1	4	△ 3	△ 75.0	
	部分焼		9	8	1	12.5	
	ぼや		45	30	15	50.0	
り災世帯	合計	世帯	51	45	6	13.3	
	全損		4	4			
	半損			3	△ 3	△ 100.0	
	小損		47	38	9	23.7	
り災人員		人	91	102	△ 11	△ 10.8	
焼損面積	建物	㎡	930	449	481	107.1	
	1件当り		18.2	12.1	6.1		
	林野	a	7		7	700.0	
	1件当り		7.0		7.0		
損害額	総額	千円	261,489	86,839	174,650	201.1	
	火災1件当り		3,076	1,128	1,949		
	市民1人当り		円	540	179	361	
	建物	千円	257,708	73,170	184,538	252.2	
			建築物	251,994	58,963	193,031	327.4
			収容物	5,714	14,207	△ 8,493	△ 59.8
	建物1件当り		5,053	1,978	3,075		
	林野		100		100	100.0	
	車両		2,774	697	2,077	298.0	
	船舶		601		601	601.0	
	航空機						
	その他		306	12,972	△ 12,666	△ 97.6	
	爆発						
死者	人	1	2	△ 1	△ 50.0		
負傷者		10	23	△ 13	△ 56.5		
一日当り	火災件数	件	0.2	0.2			
	建物火災		0.1	0.1			
	建物焼損面積	㎡	2.5	1.2	1.3		
	損害額	千円	716	238	478		
人口1万人当りの出火件数(出火率)		件	1.8	1.6	0.2		

西宮市推計人口
令和6年1月1日現在
483,927 人
令和5年1月1日現在
484,129 人

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557		15
平成29年	96	34,569	371		10
平成30年	97	146,023	382		17
令和元年	85	33,560	289	4	8
令和2年	84	137,772	498	4	11
令和3年	81	171,534	1,039	5	8
令和4年	77	86,839	449	2	23
令和5年	85	261,489	930	1	10
10年間平均	92	137,071	802	2	14

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災人員	焼損面積		死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
	合計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 火災	合計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	26	19		2		5	22		1	4	17	27	1		26	55	222		1	2	21,003	
西宮	17	13				4	16		1	3	12	22	1		21	40	188		1	1	19,433	
北夙川	9	6		2		1	6			1	5	5			5	15	34			1	1,570	
鳴尾消防署	26	13		4	1	8	14			2	12	10			10	13	10			2	1,457	
鳴尾	17	9		3		5	10			2	8	8			8	9	10			1	339	
浜	9	4		1	1	3	4				4	2			2	4				1	1,118	
瓦木消防署	23	15		2		6	17	1		2	14	13	3		10	21	484			6	231,351	
瓦木	19	12		2		5	14	1		2	11	11	3		8	14	484			5	231,341	
甲東	4	3				1	3				3	2			2	7				1	10	
北消防署	10	4	1	1		4	4	1		1	2	1			1	2	214	7			7,678	
北	2	1				1	1				1										23	
山口	8	3	1	1		3	3	1		1	1	1			1	2	214	7			7,655	
合計	85	51	1	9	1	0	23	57	2	1	9	45	51	4	0	47	91	930	7	1	10	261,489

月別火災発生状況

出火件数	合計											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	85											
建物	15	4	8	10	7	6	9	6	3	6	7	4
林野	11	4	4	3	3	4	6	2	1	5	5	3
車両	1		1	2	1	2		1			1	
船舶				1								
航空機												
その他	3		3	4	3		3	3	1	1	1	1
合計	57	4	6	3	3	5	7	2	1	6	6	3
全焼	2		1									1
半焼	1									1		
部分焼	9		2			2		1			3	
ぼや	10	4	3	3	3	3	7	1	1	5	3	2
合計	9	3	5	1	2	3	3	0	1	5	17	2
全損	4		3								1	
半損	0											
小損	47	3	2	1	2	3	3		1	5	16	2
合計	15	3	8	2	6	5	7	0	1	11	28	5
全損			3								1	
半損												
小損	15	3	5	2	6	5	7			11	27	5
合計	261,489	20	231,385	1,023	36	166	55	1,154	3	40	19,329	7,057
建物	632	20	231,258	123	35	87	45	1,142	3	40	18,669	5,654
建物	60	15	227,966	120	7	73		315	2	17	17,879	5,540
収容物	572	5	3,292	3	28	14	45	827	1	23	790	114
林野												100
車両	560		55	298		79					620	1,162
船舶				601								
航空機												
その他	29		72	1	1		10	12			40	141
爆発												
	0											

曜日別火災発生件数

種別	曜日								
	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
建物火災	51	10	8	10	5	7	1	9	1
林野火災	1		1						
車両火災	9	1	2		3	2		1	
船舶火災	1					1			
航空機火災	0								
その他火災	23	1	2	4	4	6	1	2	3
合計	85	12	13	14	12	16	2	12	4

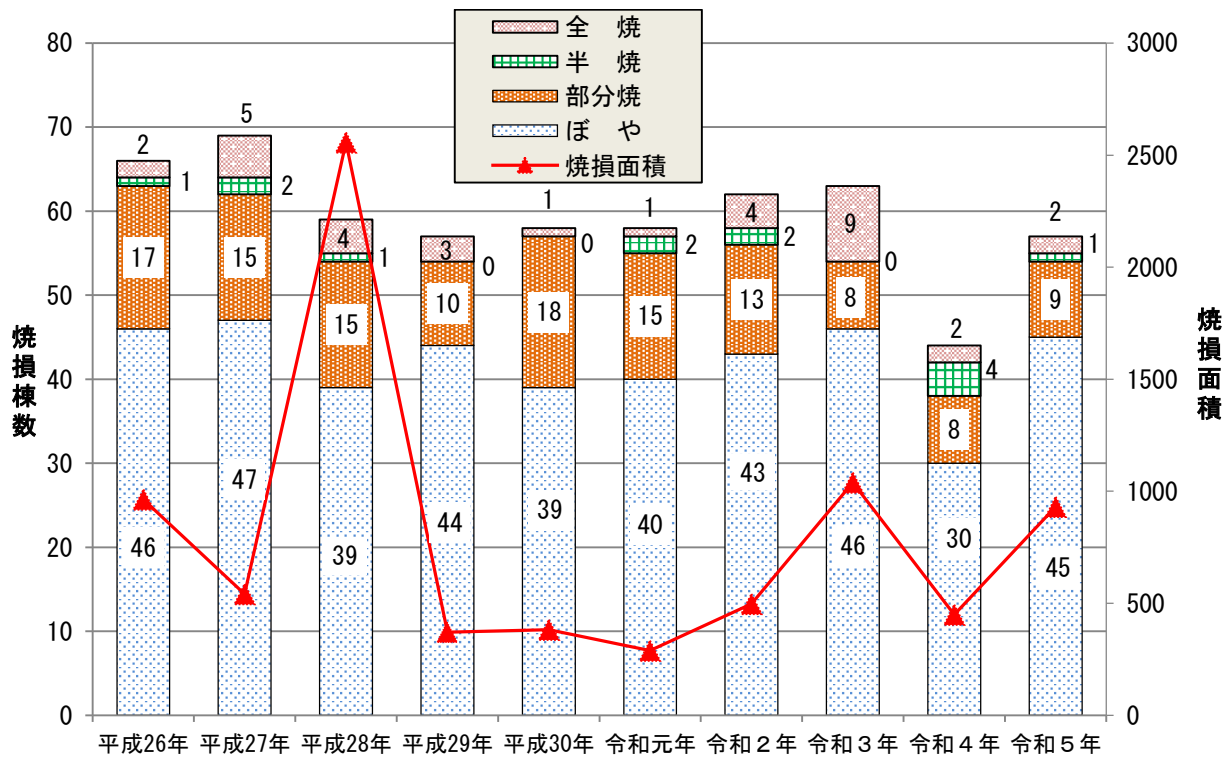
時間別火災発生件数

種別	時間	合計																									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
建物火災	51	51	6	1					2	3	4	3	3	1	3		3	5	3	2		6	1	2	1	2	
林野火災	1	1																			1						
車両火災	9	9							1		1					3	2						1			1	
船舶火災	1	1															1										
航空機火災	0	0																									
その他火災	23	23					1	1	1			2	2	2	1	2		4	1			2	1			3	
合計	85	85	0	6	1	0	0	1	1	3	4	4	6	5	3	4	5	5	10	4	2	1	8	3	2	1	6

覚知方法別火災発生件数

覚知方法	種別	出火件数						比率 (%)	
		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機		その他
専用電話 (IP)		7	6					1	8
専用電話 (固定)		3	1		2				4
専用電話 (携帯)		45	29	1	4	1		10	53
加入電話 (固定)		1						1	1
加入電話 (携帯)		0							0
駆け付け通報		0							0
事後聞知		27	15		2			10	32
その他		2			1			1	2
合計		85	51	1	9	1	0	23	100

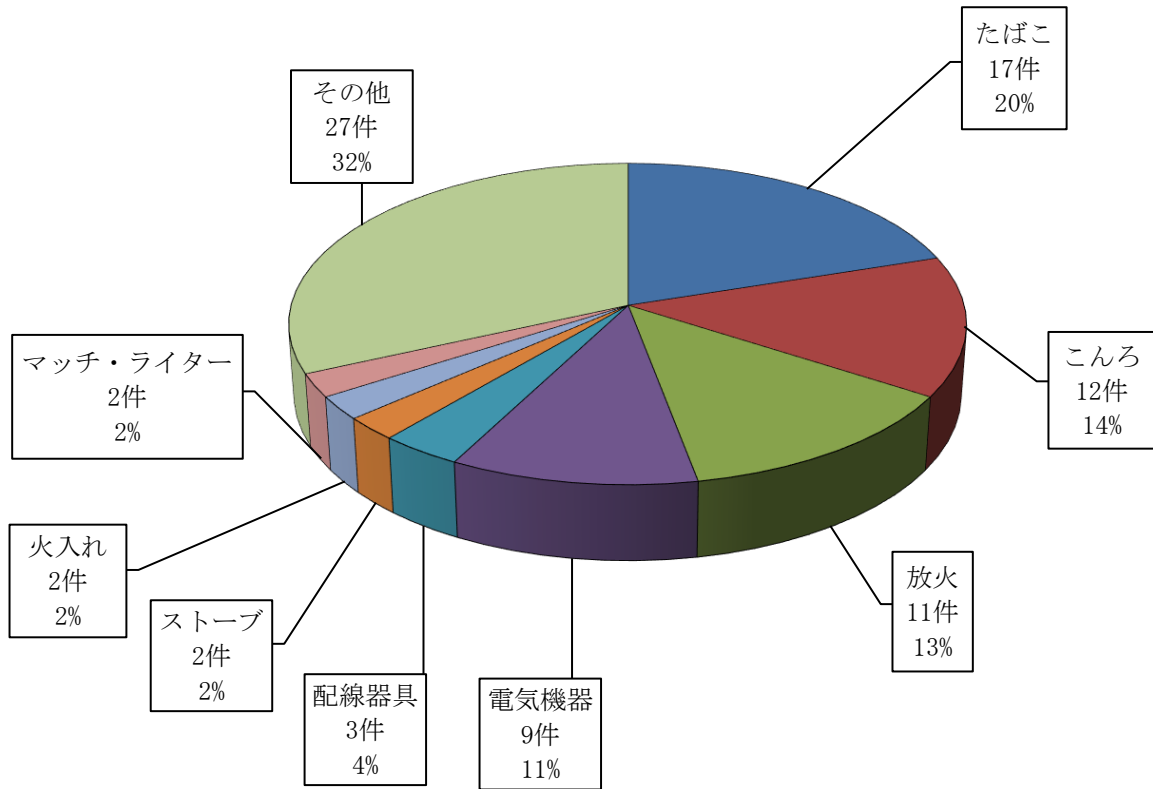
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	令和5年				令和4年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)
建物火災	51	257,708	99	5,053	37	73,170	84	1,978
林野火災	1	100		100				
車両火災	9	2,774	1	308	8	697	1	87
船舶火災	1	601		601				
航空機火災								
その他火災	23	306		13	32	12,972	15	405
合計	85	261,489	100	3,076	77	86,839	100	1,128

出火原因



※ 放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
1位	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26	こんろ 16	こんろ 19	こんろ 24	こんろ 13	たばこ 14	たばこ 17
2位	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18	配線器具 12	放火 12	放火 10	放火 10	放火 9	こんろ 12
3位	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8	放火 11	たばこ 10	たばこ 9	たばこ 9	電気機器 8	放火 11
4位	配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7	たばこ 9	電気機器 6	電気機器 6	電気機器 8	こんろ 7	電気機器 9
5位	排気管 電気装置 電灯電話 等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5	電気機器 灯火 各4	ストーブ 配線器具 電灯電話 等の配線 各3	排気管 5	配線器具 6	灯火 配線器具 溶接機・ 溶断機 電灯電話 等の配線 各2	配線機器 3

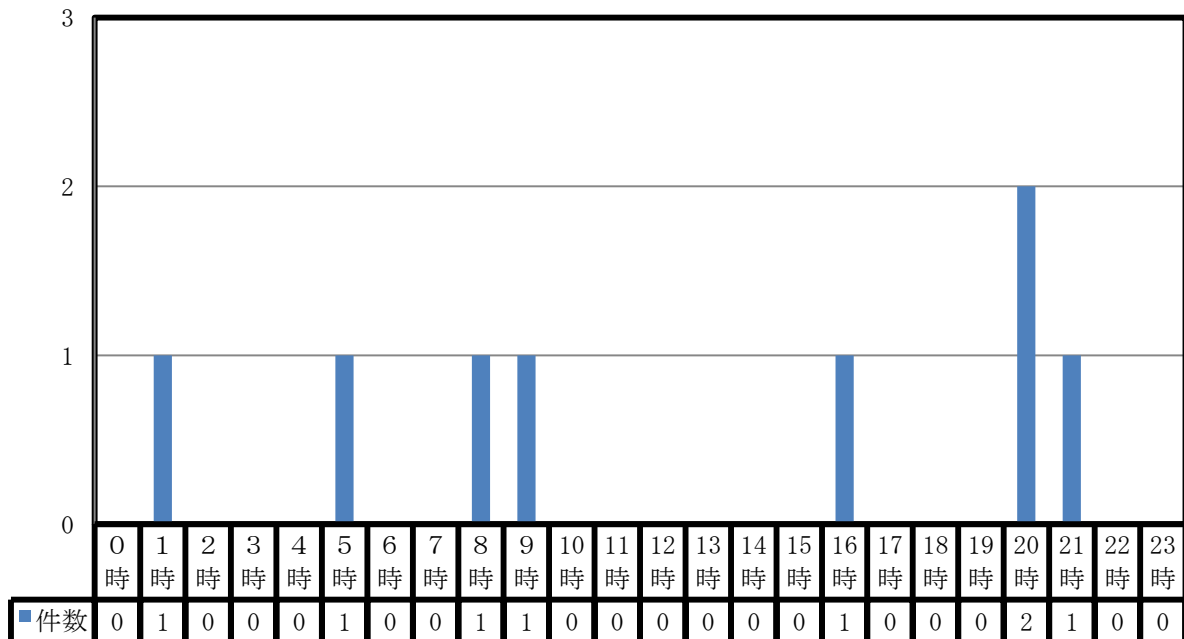
放火件数の推移

年 件数	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	平均
件数	35	29	11	26	11	12	10	10	9	11	16

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
件数	11	2	1		2	2		1	3

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着火物	件数
ごみ類	2
衣類	1
ふとん、座ぶとん、寝具	1
繊維製品	1
袋及び紙製品	1
合成樹脂と成形品	1
合成樹脂屑	1
バンパー	1
その他	2

主な火災発生状況

- ① 損害額 1,000万円以上
- ② 焼損面積 建物300㎡、林野200a 以上
- ③ 即報、詳報に該当する火災
- ④ 消防長が必要と認める火災

No.	月 日	種 別	覚 知 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発 生 場 所	火元用途	死 者	負 傷 者	焼 損 状 況
1	3月6日	建物	16時31分	翌3時22分	専用電話 (IP電話)	段上町4丁目	寄 宿 舎			木造カラーベスト葺外壁サイディングボード張2階建修道院(寄宿舍)1棟11戸を全焼したもの。
2	11月8日	建物	1時31分	2時59分	専用電話 (携帯電話)	森下町	共同住宅	1		鉄骨鉄筋コンクリート造8階建共同住宅1棟87戸2事務所のうち、一室を全焼、その他の住戸及び共用部分の一部を焼損し、その他住戸の一部を水汚損したもの。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	1	1	2
尼崎市			
宝塚市			
芦屋市			
神戸市	1	1	2

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計			
尼崎市			
宝塚市			
芦屋市			
神戸市			

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

消防局消防活動状況

区 分		合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
出 動 件 数	事後聞知	27	15		2			10
	第 1 出 動	56	34	1	7	1		13
	第 2 出 動	2	2					
	第 3 出 動	0						
	合 計	85	51	1	9	1		23
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	28	16		2		10
		人員	112	63		8		41
	第 1 出 動	台数	327	263	11	9	1	43
		人員	1,181	954	37	37	4	149
	第 2 出 動	台数	4	4				
		人員	15	15				
	第 3 出 動	台数	0					
		人員	0					
	特 命 出 動	台数	28	18		2	4	4
		人員	88	51		9	12	16
		台数	387	301	11	13	5	57
		人員	1,396	1,083	37	54	16	206
放 水 台 数	第 1 出 動	46	26	4	4	1		11
	第 2 出 動	3	3					
	第 3 出 動	0						
	特 命 出 動	5	2		1			2
	合 計	54	31	4	5	1		13
放 水 時 間	5 分 未 満	8	3		3			2
	5 ～ 10 分	4	3		1			
	11 分 以 上	42	25	4	1	1		11
使 用 ホ ー ス 数		502	295	41	11	10		145
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	25	19		1			5
	5 ～ 10 分	32	17		6	1		8
	11 分 以 上	1		1				

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上

※ 現場までの所要時間は、事後聞知を除く

その他災害統計



阪神ブロック後方支援部隊集結訓練

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

令和5年中のその他災害発生件数は、前年より1件減少し、1,094件発生している。

内訳は、「緊急確認」421件（38%）が最も多く、「補完」243件（22%）、「支援活動」216件（20%）、「緊急措置」128件（12%）、「その他」86件（8%）となっている。

消防署別では、西宮消防署管内で345件、鳴尾消防署管内で212件、瓦木消防署管内で200件、北消防署管内で337件発生している。

2 出動状況

令和5年中のその他災害による出動は、1,408台の5,300人となっている。

消防署別では、西宮消防署管内へ443台の1,753人（本署～287台、1,150人、北夙川～156台、603人）、鳴尾消防署管内へ331台の1,278人（本署～226台、871人、浜～105台、407人）、瓦木消防署管内へ277台の1,042人（本署～198台、741人、甲東～79台、301人）、北消防署管内へ357台の1,227人（本署～187台、654人、山口～170台、573人）が出動している。

3 災害内容

発生件数1,094件の災害内容の主な内訳は、「自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動」340件（31%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」238件（22%）、「道路上における活動隊の安全確保」157件（14%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」78件（7%）、「高齢者、身体障害者等の介助」54件（5%）となっている。

所 属 別 そ の 他 災 害 発 生 状 況

区 分	所属別 合 計	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			
		小 計	本 署	北夙川	小 計	本 署	浜	小 計	本 署	甲 東	小 計	本 署	山 口	
緊 急 措 置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	42	10	6	4	20	13	7	8	5	3	4	2	2
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	78	32	23	9	18	10	8	14	10	4	14	5	9
	ガス漏れ	5	5	3	2									
	その他緊急対応措置が必要な事案	3	2	1	1							1	1	
	小 計	128	49	33	16	38	23	15	22	15	7	19	8	11
緊 急 確 認	火災と紛らわしい煙の確認	21	7	1	6	2	1	1	1		1	11	5	6
	異臭・異音	21	10	5	5	3	2	1	4	3	1	4	4	
	自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動	340	164	120	44	84	63	21	73	57	16	19	5	14
	ガス・電気等の消し忘れ	1							1	1				
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	20	3	2	1	12	11	1	4	4		1	1	
	その他緊急確認が必要な事案	18	1		1	7	3	4	5	4	1	5	1	4
小 計	421	185	128	57	108	80	28	88	69	19	40	16	24	
支 援 活 動	救急隊の支援に携わった事案	51	18	5	13	6	4	2	13	6	7	14	9	5
	道路上における活動隊の安全確保	157	61	40	21	29	20	9	29	20	9	38	22	16
	上記に該当しない支援活動	8				6		6				2	1	1
	小 計	216	79	45	34	41	24	17	42	26	16	54	32	22
そ の 他	自然災害対応	6	2		2	1	1		1		1	2	2	
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	12	4	3	1				7	4	3	1	1	
	焚き火、野焼き、火遊び等	5				4	4					1		1
	高齢者、身体障害者等の介助	54	16	12	4	19	13	6	17	11	6	2	1	1
	その他社会的危険が考えられる事案	9	4	1	3	1	1		2	2		2	1	1
	小 計	86	26	16	10	25	19	6	27	17	10	8	5	3
補 完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	238	6		6				21	21		211	119	92
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	5										5	5	
	小 計	243	6	0	6	0	0	0	21	21	0	216	124	92
合 計	1,094	345	222	123	212	146	66	200	148	52	337	185	152	
出動台数	1,408	443	287	156	331	226	105	277	198	79	357	187	170	
出動人員	5,300	1,753	1,150	603	1,278	871	407	1,042	741	301	1,227	654	573	

水防統計



水防工法訓練

水防災害活動状況

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	発令された 防災指令等
1	4月7日(金)	北部地域連続雨量 100mm超、150mm超	各署巡らを実施	巡ら：16回 16台 47名	
2	5月7日(日) ～ 5月8日(月)	南部地域連続雨量100mm超、 150mm超、200mm超、 北部地域時間雨量30mm超、 連続雨量100mm超、150mm超	各署巡らを実施	巡ら：22回 22台 66名	
3	6月2日(金)	台風2号	各署巡ら、巡視を実施	巡ら：8回 8台 27名 巡視：8回 8台 24名	水防警戒指令発令
4	7月1日(土)	南部地域時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：6回 6台 19名	
5	7月19日(水)	北部地域時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：2回 2台 7名	
6	8月14日(月) ～ 8月15日(火)	台風7号	各署巡ら、巡視を実施	巡ら：12回 12台 39名 巡視：10回 10台 30名 救急出動：3件 3回 9名 作業：1件 1台 4名	水防指令第1号発令
7	8月20日(日)	南部地域時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：6回 6台 19名	
8	8月26日(土)	南部地域時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
9	9月20日(水)	南部地域時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：6回 6台 20名	

救 急 統 計



上級救命講習会

救急の概要

1 概況

令和5年中の救急出動件数は28,686件、搬送人員は25,949人で、前年と比べ出動件数は2,218件、搬送人員は2,548人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は「急病」が全体の66.3%を占め、「一般負傷」が17.7%、「交通事故」が5.6%となっている。

また1日の平均出動件数は78.6件で18分に1件救急車が出動し、西宮市民の17人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

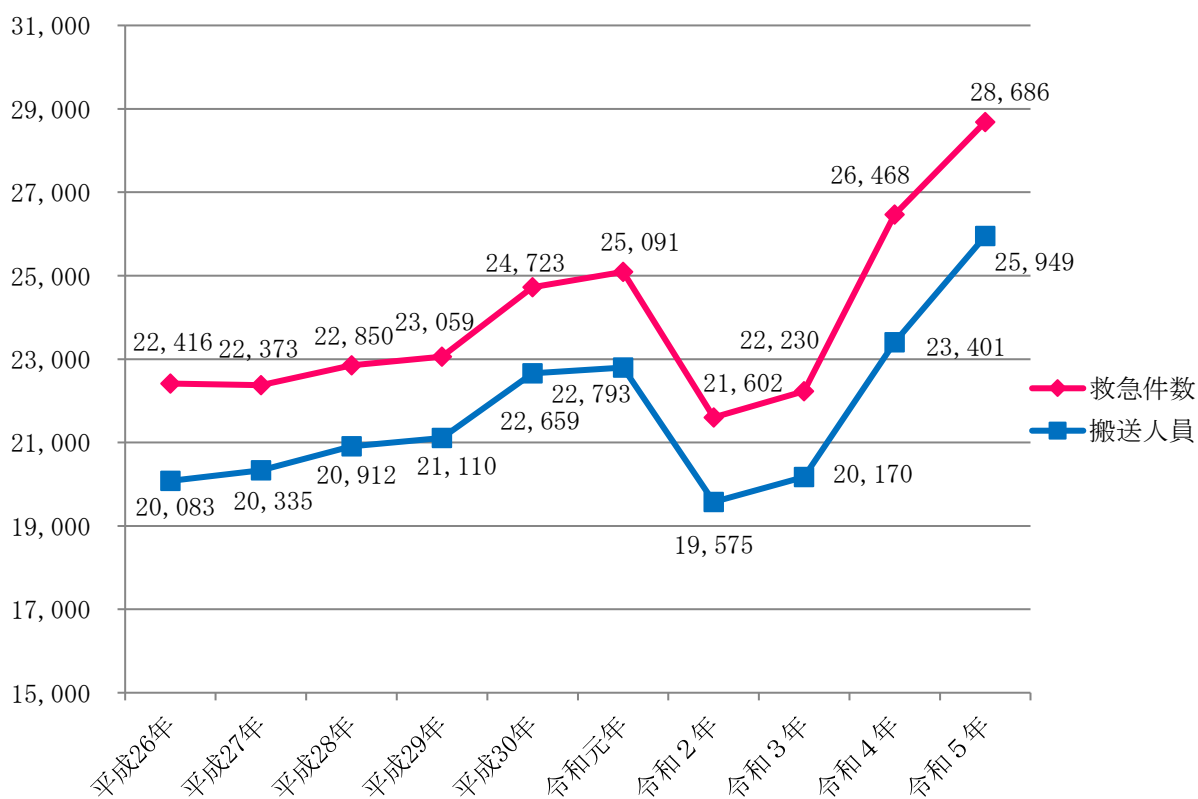
応急手当の普及促進については、感染防止対策を徹底したうえで可能な限り救急講習を開催し、応急手当普及員の育成も推進することで、市民による病院前救護体制の強化及び救命効果の向上を図った。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務に対する理解と協力を求めるためにホームページに加え、YouTube等のSNSを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	令和5年	令和4年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	28,686 件	26,468 件	2,218 件	8.4 %
傷 病 者 搬 送 人 員	25,949 人	23,401 人	2,548 人	10.9 %
1 日 平 均 出 動 件 数	78.6 件	72.5 件	西 宮 市 推 計 人 口 令和5年1月1日現在 484,129人 令和6年1月1日現在 483,927人 前年比 -202人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	18分に1件	20分に1件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	17人に1件	18人に1件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	19人に1人	21人に1人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	593 件	547 件		

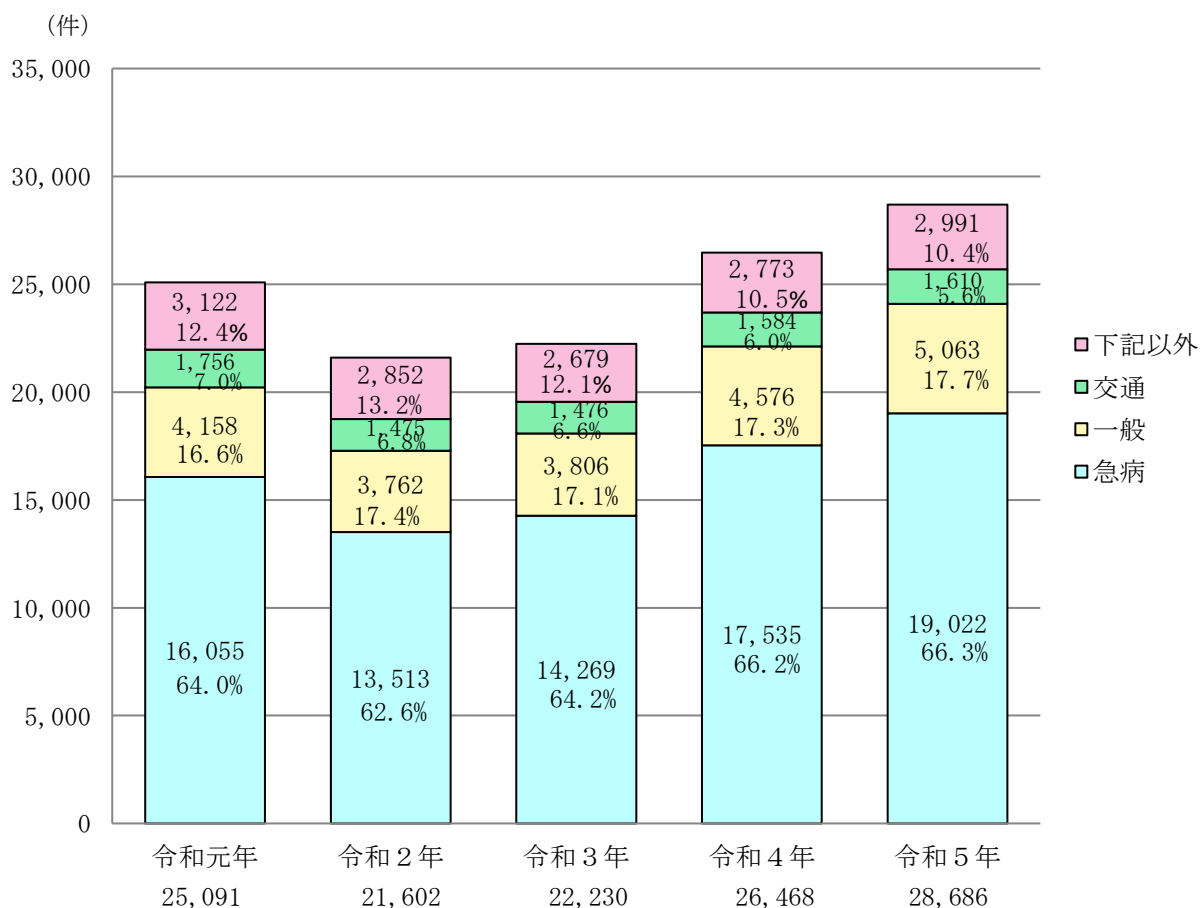
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	自 損 行 為	労 働 災 害	加 害	運 動 競 技	火 災	水 難	自 然 災 害	そ の 他
出動件数 (件)	28,686	19,022	1,610	5,063	199	202	71	215	12	10	3	2,279
構成比 (%)	100	66.3	5.6	17.7	0.7	0.7	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	7.9
搬送人員 (人)	25,949	17,482	1,494	4,688	138	195	53	212	8	2	3	1,674
構成比 (%)	100	67.4	5.8	18.1	0.5	0.8	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	6.4

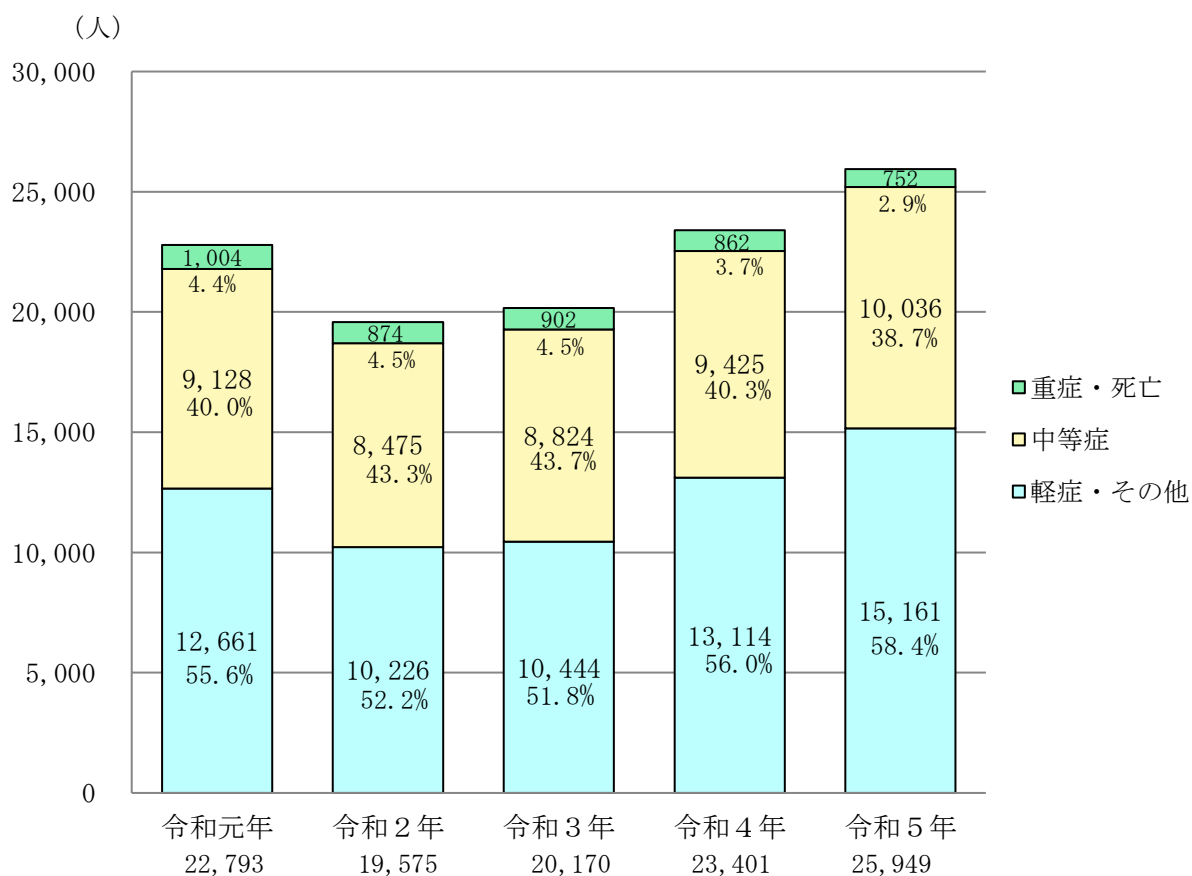
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

		計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	搬送人員(人)	17,482	69	365	6,942	10,106	
	構成比(%)	100	0.4	2.1	39.7	57.8	
交通事故	搬送人員(人)	1,494	1	32	216	1,245	
	構成比(%)	100	0.1	2.1	14.5	83.3	
一般負傷	搬送人員(人)	4,688	4	181	1,237	3,266	
	構成比(%)	100	0.1	3.8	26.4	69.7	
上記以外	搬送人員(人)	2,285	10	90	1,641	544	
	構成比(%)	100	0.4	4.0	71.8	23.8	
計	搬送人員(人)	25,949	84	668	10,036	15,161	0
	構成比(%)	100	0.3	2.6	38.7	58.4	0.0

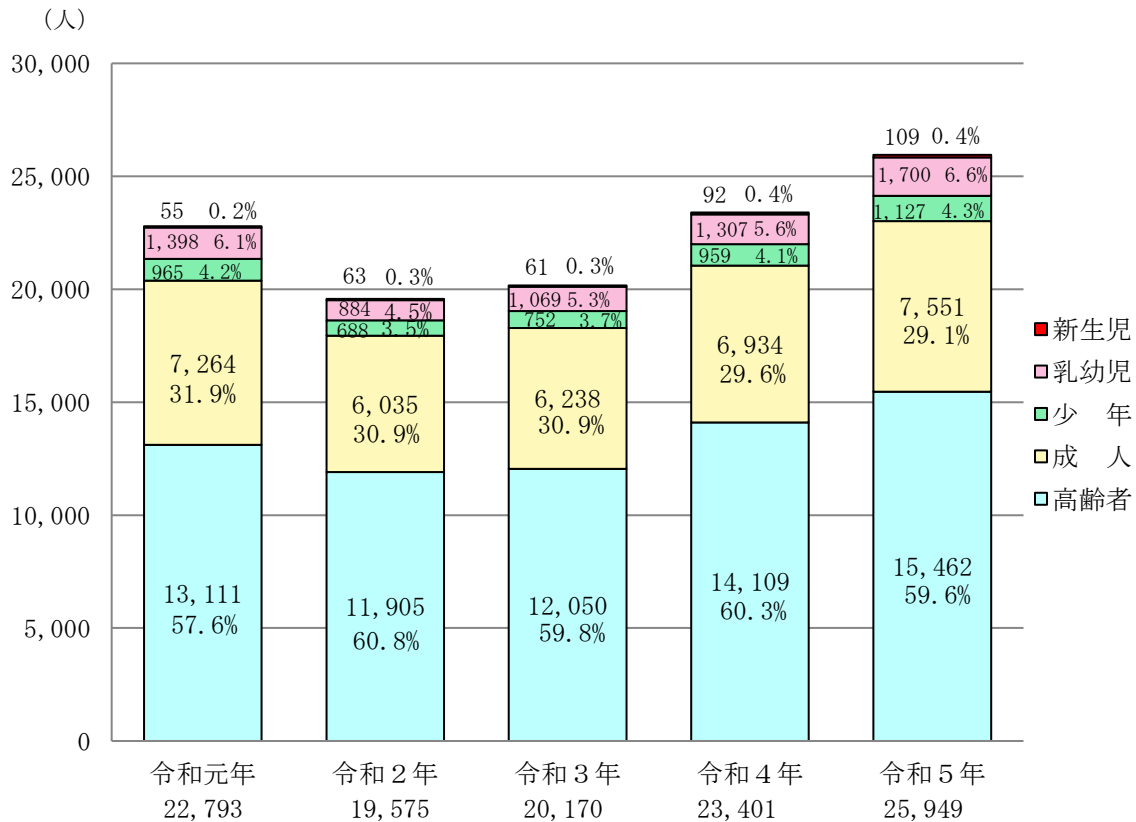
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

		計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	搬送人員(人)	17,482	14	1,226	664	5,089	10,489
	構成比(%)	100	0.1	7.0	3.8	29.1	60.0
交通事故	搬送人員(人)	1,494		42	128	877	447
	構成比(%)	100	0.0	2.8	8.6	58.7	29.9
一般負傷	搬送人員(人)	4,688	2	363	171	792	3,360
	構成比(%)	100	0.1	7.7	3.6	16.9	71.7
上記以外	搬送人員(人)	2,285	93	69	164	793	1,166
	構成比(%)	100	4.1	3.0	7.2	34.7	51.0
計	搬送人員(人)	25,949	109	1,700	1,127	7,551	15,462
	構成比(%)	100	0.4	6.6	4.3	29.1	59.6

年齢区分別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

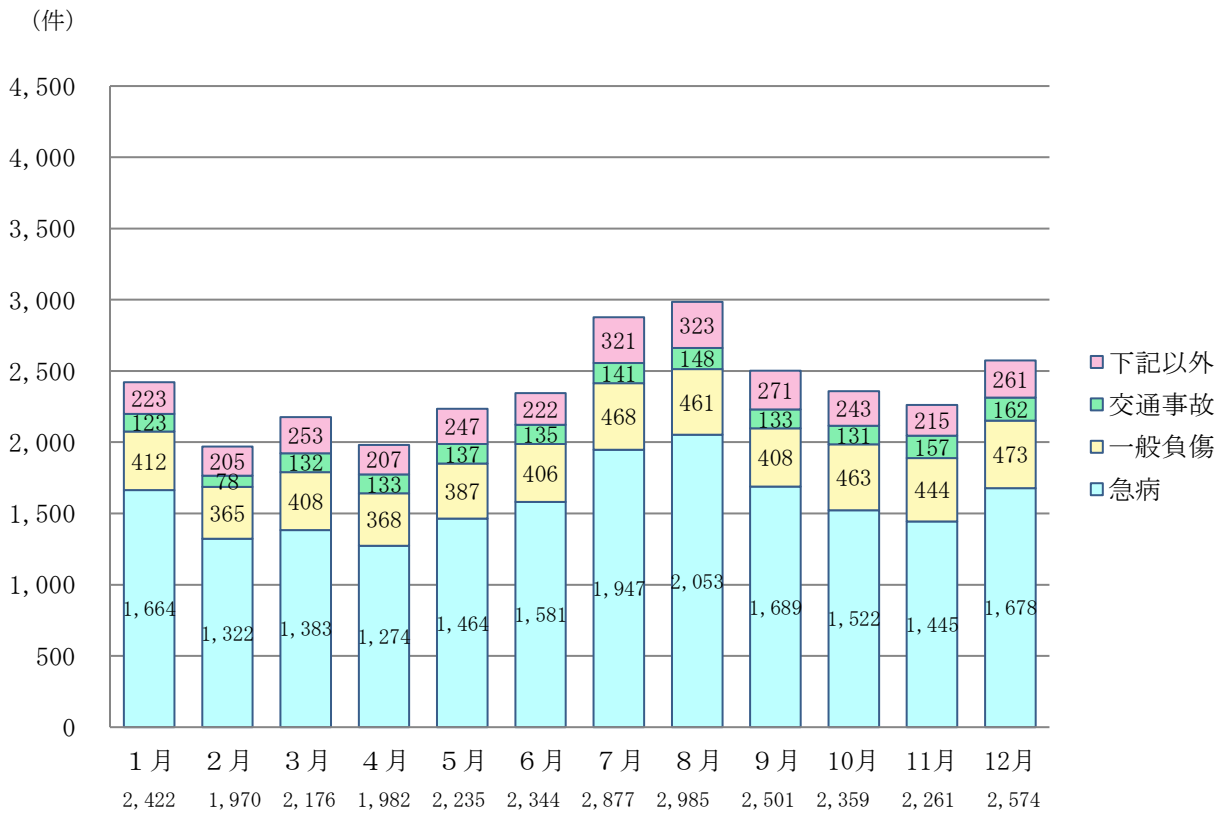
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

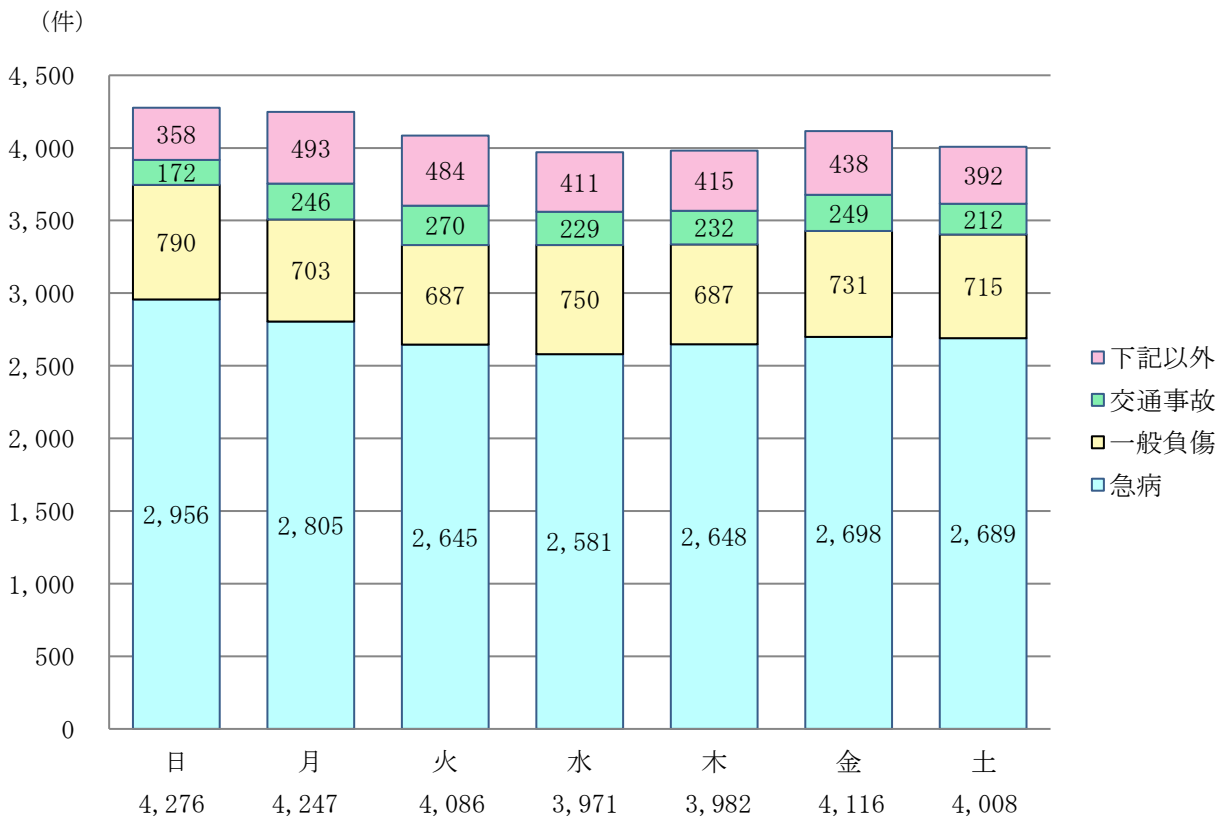
高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

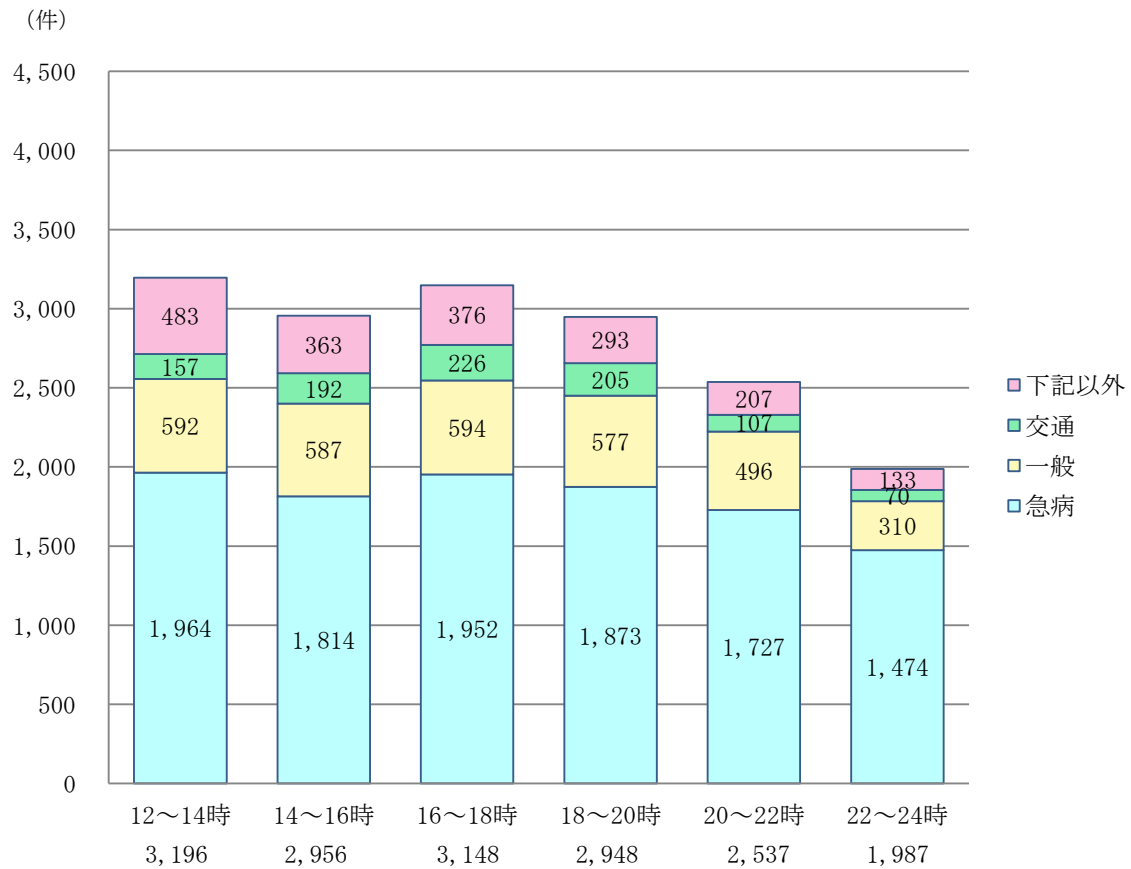
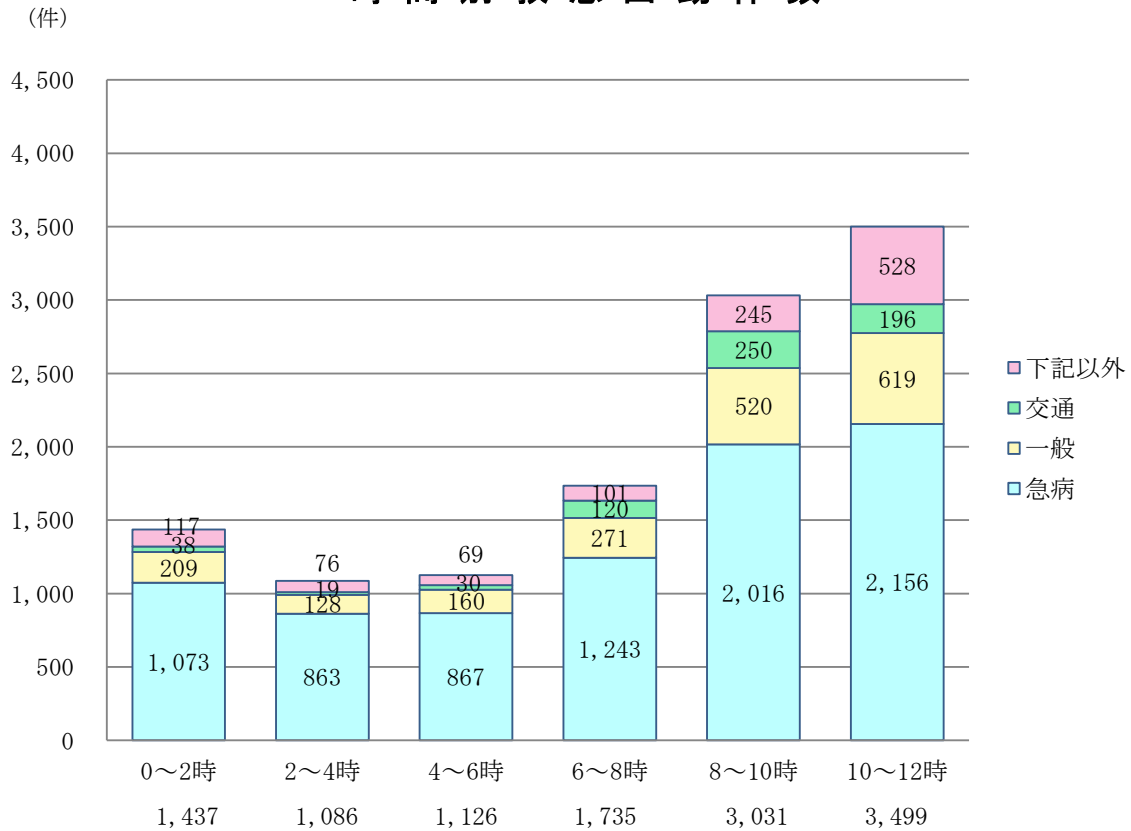
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	合計	救急告示医療機関				その他の医療機関				合計				その他の場所	
		国 ・ 公 立	公 的	私 病 院	的 診 療 所	国 ・ 公 立	公 的	私 病 院	的 診 療 所	国 ・ 公 立	公 的	私 病 院	的 診 療 所		計
合計	25,949	6,521	14	11,023	1	1,181	10	7,076	123	7,702	24	18,099	124	25,949	0
比率	100%	67.7%				32.3%				29.8%		70.2%		100%	0.0%
市内	21,855	5,042		9,956		2		6,744	111	5,044		16,700	111	21,855	
市外	4,094	1,479	14	1,067	1	1,179	10	332	12	2,658	24	1,399	13	4,094	

隣接都市救急応援（被応援）出動状況

医療機関別		出動件数	出動人員	出動台数
合計	応援	30	90	30
	被応援	35	105	35
尼崎市	応援	7	21	7
	被応援	13	39	13
宝塚市	応援	11	33	11
	被応援	16	48	16
芦屋市	応援	11	33	11
	被応援	6	18	6
神戸市	応援	1	3	1
	被応援			
その他	応援			
	被応援			

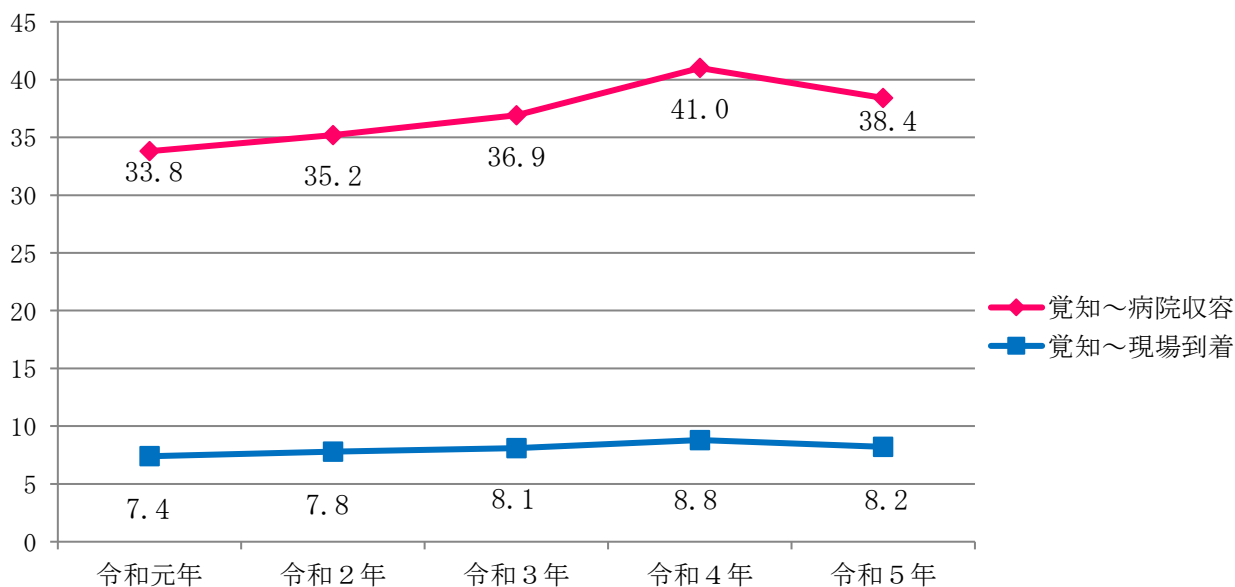
現場到着及び病院収容所要平均時間

(単位：分)

隊別 区分	市計	消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
覚知～現場到着	8.2	11.9	8.4	8.4	7.3	8.1	8.0	8.9	9.7	8.8
覚知～病院収容	38.4	45.0	37.5	38.0	35.0	37.9	38.1	41.3	54.4	45.2

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移

(分)



応急処置等の状況

応急処置	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	25,937	17,480	1,494	4,686	2,277
止血	407	76	31	254	46
固定	583	17	298	198	70
人工呼吸	88	69		7	12
胸骨圧迫	7	6			1
心肺蘇生	412	351	3	20	38
酸素吸入	4,408	3,517	100	240	551
気道確保	584	485	6	43	50
経鼻エアウェイ	3	2			1
喉頭鏡等を使用した異物除去	7			6	1
ラリングアルチューブ等	50	45		1	4
気管挿管	15	11		4	
用手による気道確保	509	427	6	32	44
保温	157	68	43	19	27
被覆	1,711	76	373	1,138	124
在宅療法継続	313	292	1	14	6
除細動	44	41		1	2
薬剤投与	31	28		1	2
その他の応急処置	22,977	15,448	1,347	4,144	2,038
血圧測定	23,996	16,106	1,453	4,343	2,094
聴診器による心音・呼吸音の聴取	8,392	7,017	330	539	506
血中酸素飽和度の測定	25,469	17,116	1,490	4,640	2,223
心電図	10,833	9,093	210	810	720
静脈路確保	66	61	1	3	1
うちC P A前	22	20	1	1	
うちC P A後	44	41		2	1
血糖測定	320	311	3	5	1
エピペン投与	0				
ブドウ糖投与	35	35			

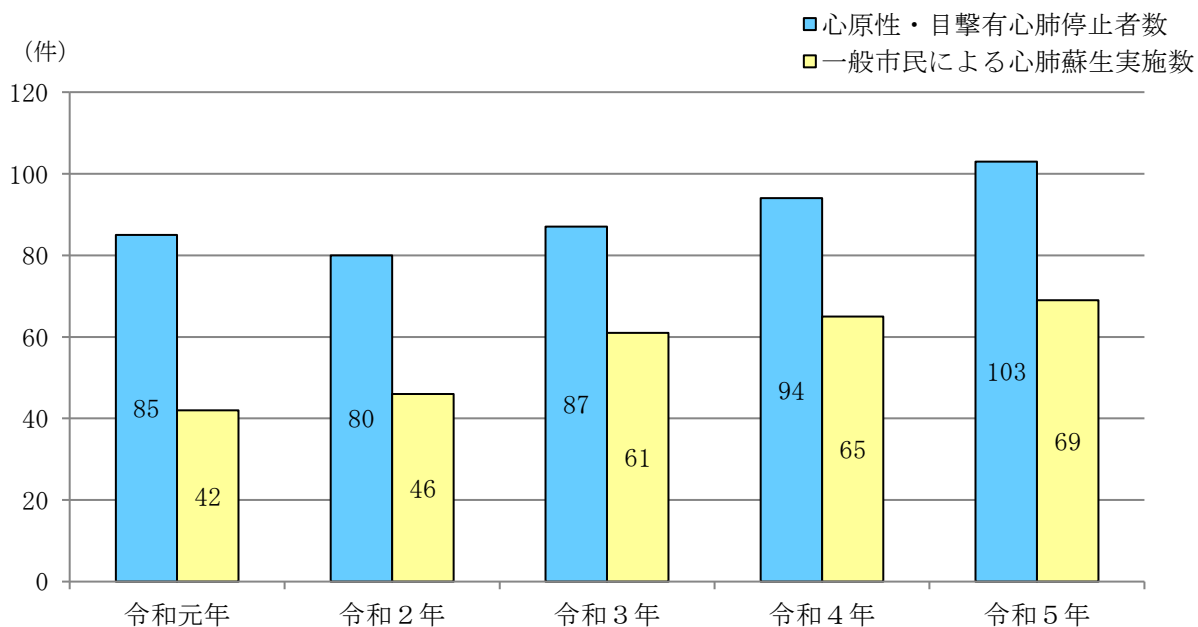
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
出動件数	38	29		2	7
対象者数	38	29		2	7
医療機関収容者数	22	18		2	2

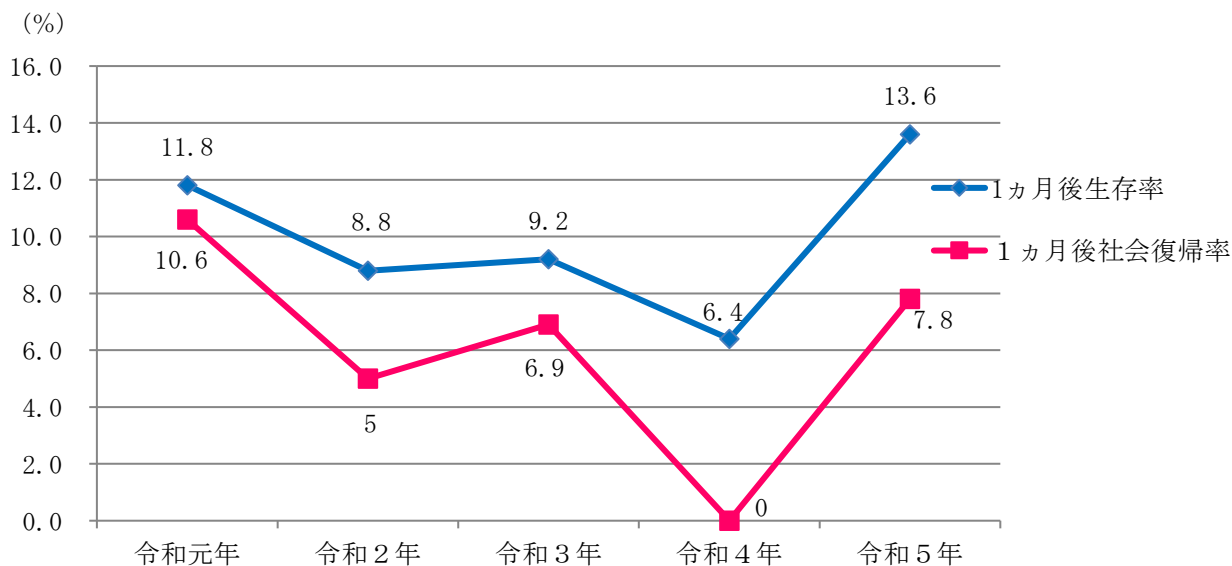
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
103	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
14	8

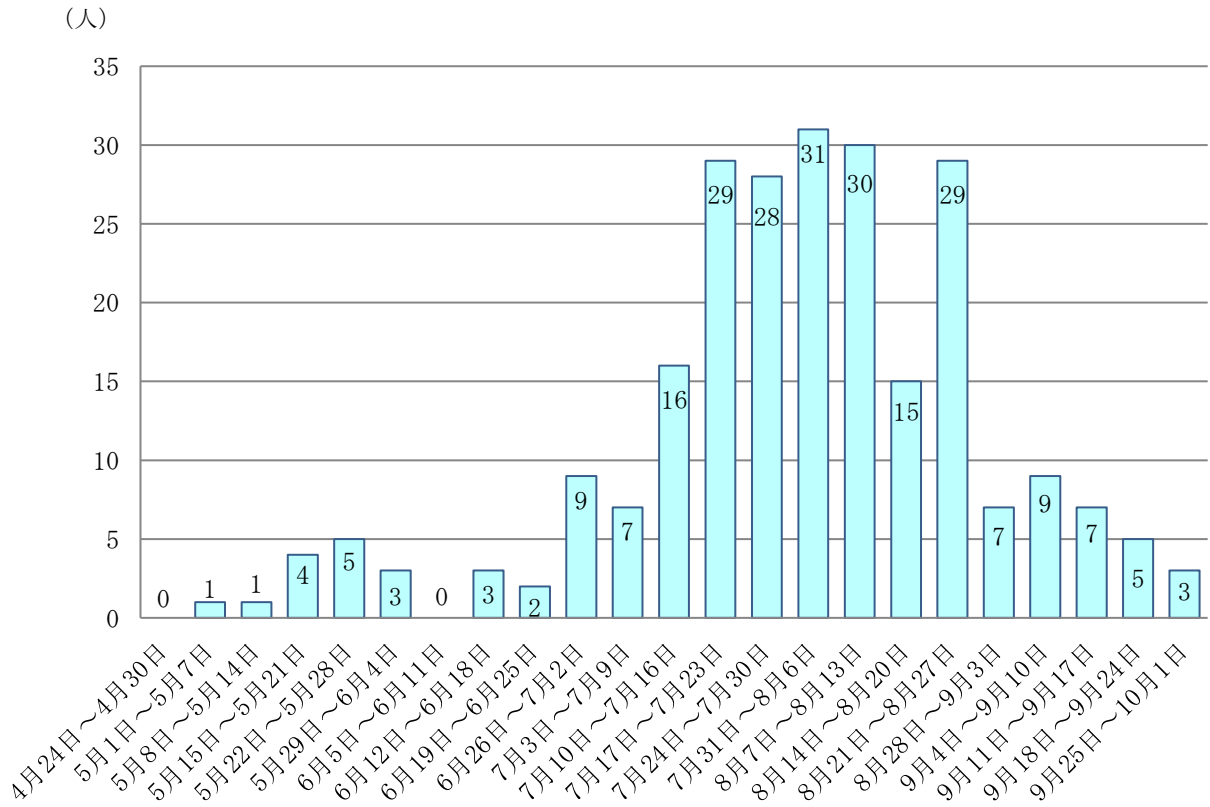
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



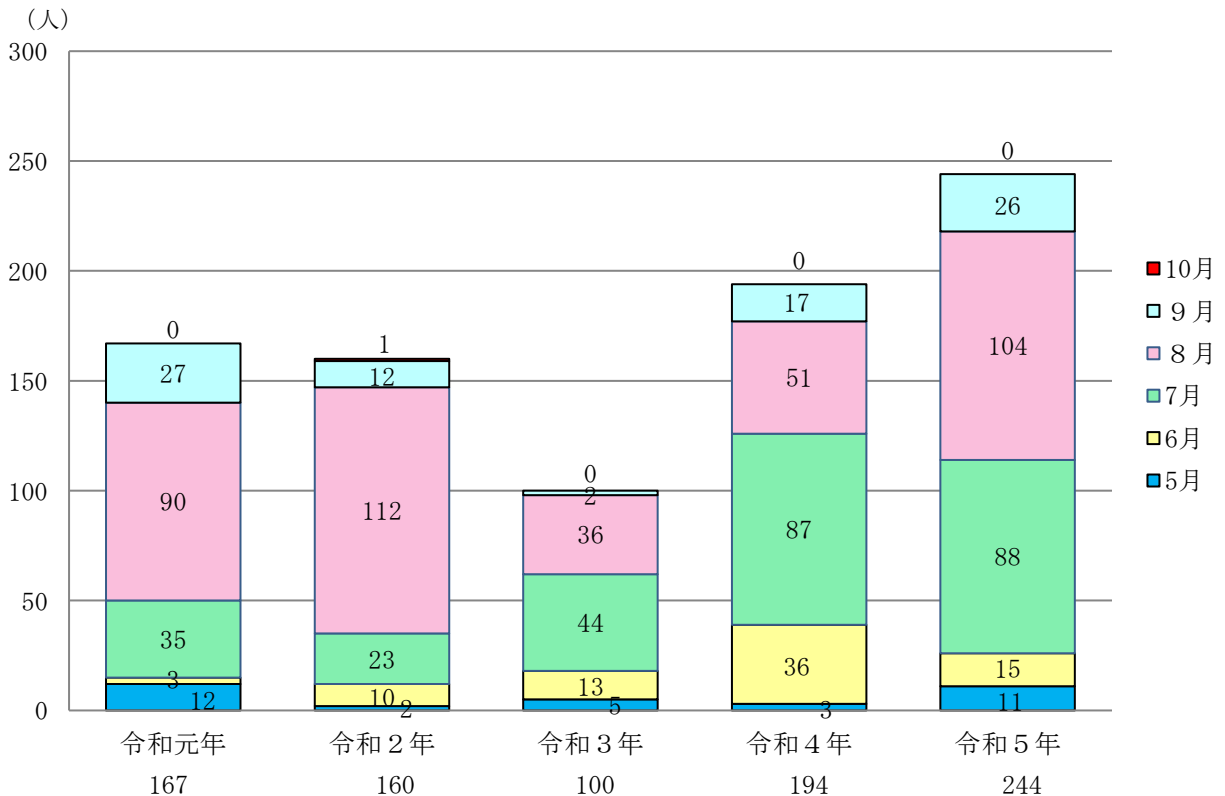
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区分 事故種別	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症		そ の 他
合 計	28,686	25,854	2,832	25,949	12,466	13,483	84	668	10,036	15,161	0	86,172
火 災	12	7	5	8	2	6		1	2	5		36
自然災害	3	3		3	2	1		1		2		9
水 難	10	2	8	2	1	1		1		1		30
交 通	1,610	1,444	166	1,494	815	679	1	32	216	1,245		4,839
労働災害	202	194	8	195	157	38		6	55	134		606
運動競技	215	210	5	212	157	55		1	16	195		647
一般負傷	5,063	4,675	388	4,688	1,964	2,724	4	181	1,237	3,266		15,210
加 害	71	53	18	53	33	20		1	4	48		213
自損行為	199	138	61	138	45	93	5	14	67	52		598
急 病	19,022	17,455	1,567	17,482	8,469	9,013	69	365	6,942	10,106		57,140
そ の 他	2,279	1,673	606	1,674	821	853	5	65	1,497	107		6,844

救急隊別出動状況

隊別	区分	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
					合計	男	女	死亡	重症	中等症	軽症		その他
	合計	28,686	25,854	2,832	25,949	12,466	13,483	84	668	10,036	15,161	0	86,172
	消防局	2	1	1	1		1				1		6
	小計	10,154	9,178	976	9,200	4,394	4,806	22	305	3,618	5,255	0	30,495
	本署	7,324	6,574	750	6,587	3,182	3,405	17	269	2,458	3,843		21,987
	北夙川分署	2,830	2,604	226	2,613	1,212	1,401	5	36	1,160	1,412		8,508
	小計	8,581	7,590	991	7,625	3,653	3,972	15	125	2,842	4,643	0	25,760
	本署	6,472	5,662	810	5,687	2,758	2,929	10	81	2,010	3,586		19,428
	浜分署	2,109	1,928	181	1,938	895	1,043	5	44	832	1,057		6,332
	小計	7,801	7,116	685	7,141	3,430	3,711	35	154	2,728	4,224	0	23,452
	本署	5,404	4,938	466	4,956	2,391	2,565	26	93	1,829	3,008		16,212
	甲東分署	2,397	2,178	219	2,185	1,039	1,146	9	61	899	1,216		7,240
	小計	2,148	1,969	179	1,982	989	993	12	84	848	1,038	0	6,459
	本署	1,019	930	89	940	480	460	6	44	380	510		3,070
	山口分署	1,129	1,039	90	1,042	509	533	6	40	468	528		3,389

月別・曜日別救急出動状況

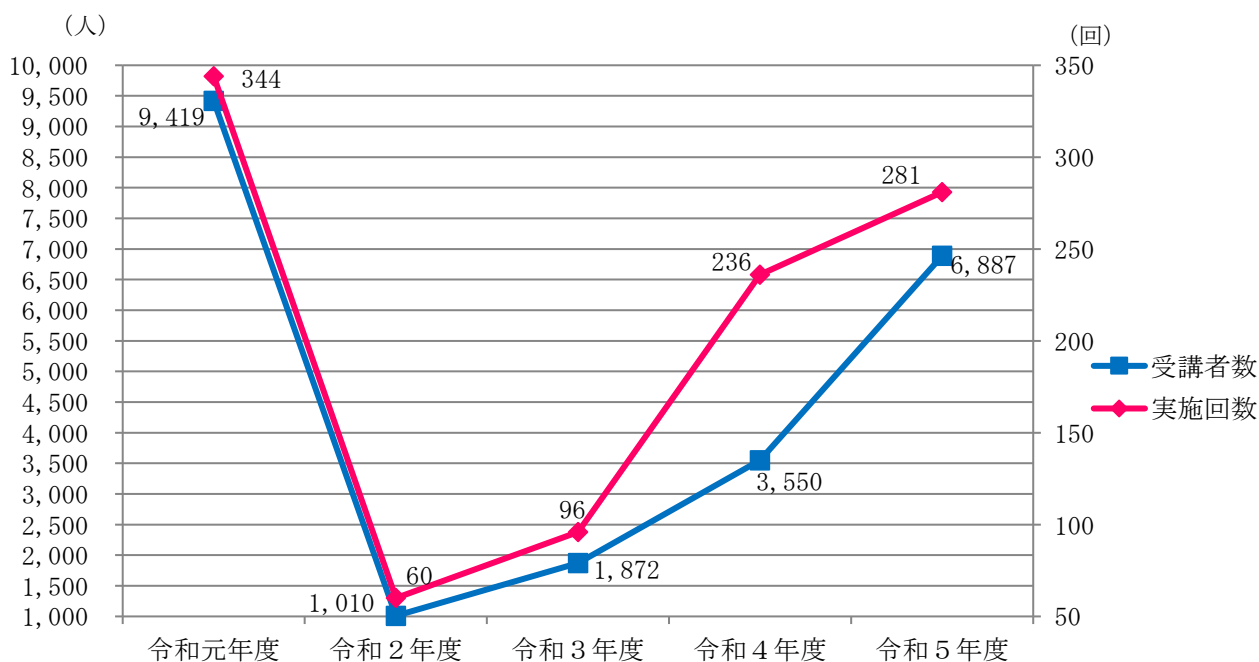
区分 事故種別	月別												曜日別						
	合 計												合 計						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
合計	2,422	1,970	2,176	1,982	2,235	2,344	2,877	2,985	2,501	2,359	2,261	2,574	4,276	4,247	4,086	3,971	3,982	4,116	4,008
火災	3	1	2				1	2		1	1	1	1	1	3	1	1	1	4
自然災害								3							3				
水難				1				4	4	1			2		3		3	1	1
交通	123	78	132	133	137	135	141	148	133	131	157	162	172	246	270	229	232	249	212
労働災害	16	12	17	12	21	13	36	33	17	7	7	11	25	28	40	31	29	21	28
運動競技	9	9	22	13	20	18	31	27	24	16	13	13	69	19	26	28	21	16	36
一般負傷	412	365	408	368	387	406	468	461	408	463	444	473	790	703	687	750	687	731	715
加害	7	3	5	2	6	6	10	10	5	4	7	6	15	11	8	6	8	6	17
自損行為	14	13	12	13	27	18	21	14	16	24	13	14	34	42	33	25	24	18	23
急病	1,664	1,322	1,383	1,274	1,464	1,581	1,947	2,053	1,689	1,522	1,445	1,678	2,956	2,805	2,645	2,581	2,648	2,698	2,689
その他	174	167	195	166	173	167	222	230	205	191	173	216	212	392	368	320	329	375	283

所属別救急講習実施状況

(令和5年度中)

区 分		隊 別	合 計	消 防 局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
指導員講習	回数		1	1								
	人数		19	19								
普及員講習	回数		20	20								
	人数		133	133								
上級救命講習	回数		2	2								
	人数		37	37								
普通救命講習	回数		86	32	8	2	8	4	16	5	6	5
	人数		1,150	541	99	13	75	28	212	42	69	71
救命入門コース	回数		81	4	15	12	11	6	11	9	7	6
	人数		2,461	43	394	476	265	315	425	342	116	85
その他の講習	回数		91	3	14	8	18	8	11	12	8	9
	人数		3,087	60	507	170	755	211	561	238	303	282
合 計	回数		281	62	37	22	37	18	38	26	21	20
	人数		6,887	833	1,000	659	1,095	554	1,198	622	488	438

救急講習実施回数及び受講者数の推移



救 助 統 計



國際消防救助隊合同訓練

救 助 の 概 要

1 概況

令和5年中の救助出動件数は607件、救助活動件数は367件、救助人員は292人となっている。

前年と比較すると、出動件数で56件、活動件数で24件、救助人員で15名増加している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災7件（1%）、交通事故27件（4%）、水難事故10件（2%）、機械事故1件（1%）、建物事故261件（43%）、その他の事故301件（49%）となっている。

前年と比較すると、火災で3件、水難事故で3件、建物事故で23件、その他の事故で37件増加し、交通事故で4件、機械事故で1件、ガス・酸欠事故で5件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災7件（2%）、交通事故9件（2%）、水難事故9件（2%）、機械事故1件（1%）、建物事故231件（63%）、その他の事故110件（30%）となっている。

前年と比較すると、火災で3件、水難事故で5件、建物事故で17件、その他の事故で9件増加し、交通事故で4件、機械事故で1件、ガス・酸欠事故で5件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災5人（2%）、交通事故10人（3%）、水難事故8人（3%）、機械事故1人（1%）、建物事故231人（79%）、その他の事故37人（12%）となっている。

前年と比較すると、火災で1人、水難事故で4人、建物事故で13人、その他の事故で8人増加し、交通事故で4人、機械事故で1人、ガス・酸欠事故で6人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス・	裂	の
			故	事	事	災	事	事	酸	事	事
			故	故	害	害	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	607	7	27	10	0	1	261	0	0	301
	活動件数	367	7	9	9	0	1	231	0	0	110
	救助人員	292	5	10	8	0	1	231	0	0	37
	出動台数	1,407	83	89	60	0	1	515	0	0	659
	出動人員	5,075	366	335	211	0	5	1,826	0	0	2,332
西 宮	出動件数	200	4	9			1	88			98
	活動件数	116	4	2			1	73			36
	救助人員	87	2	3			1	73			8
	出動台数	458	52	27			1	175			203
	出動人員	1,816	227	106			5	683			795
鳴 尾	出動件数	220	2	5	8			103			102
	活動件数	137	2	3	7			96			29
	救助人員	108	1	3	6			95			3
	出動台数	495	18	17	48			204			208
	出動人員	1,698	75	63	173			682			705
瓦 木	出動件数	146	1	5	1			61			78
	活動件数	96	1	3	1			56			35
	救助人員	80	2	3	1			57			17
	出動台数	321	13	13	5			118			172
	出動人員	1,109	64	43	18			405			579
北	出動件数	41		8	1			9			23
	活動件数	18		1	1			6			10
	救助人員	17		1	1			6			9
	出動台数	133		32	7			18			76
	出動人員	452		123	20			56			253

発生場所別出動状況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			607	6	1	27	10	0	1	261	0	0	301	
屋 内	住 居		505	6						247			252	
	その他の屋内		11						1	6			4	
屋 外	道 路	名 神 高 速	0											
		中国自動車道	1			1								
		山陽自動車道	2			2								
		阪 神 高 速	0											
		一 般 道 路	20			18								2
	内 水 面	河 川	7					3						4
		湖 ・ 沼	0											
		池	1											1
		プ ー ル	0											
		そ の 他	1					1						
	外 水 面	海	7		1			6						
		そ の 他	0											
		山 岳	11											11
		そ の 他	40			6				8				26
	地 下	0												
	そ の 他	1											1	

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	607	367	292	7	27	10	0	1	261	0	0	301	490	113	2	2
1月	62	37	27	2	1				27			32	52	10		
2月	50	35	32						29			21	42	8		
3月	44	24	17	1					15			28	36	7		1
4月	40	28	24	1	2				21			16	38	2		
5月	40	19	15		2	2			15			21	28	11	1	
6月	48	25	18		4				17			27	37	11		
7月	57	38	26			1		1	21			34	43	14		
8月	66	41	37		5	4			26			31	50	15		1
9月	48	30	23		4	2			21			21	42	6		
10月	62	38	29	1	5				26			30	50	11	1	
11月	32	17	13	2	1	1			15			13	26	6		
12月	58	35	31		3				28			27	46	12		

救 助 出 動 状 況 の 推 移

年 別 区 分		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		出 動 件 数		436 件		450 件		481 件		551 件	
事 故 種 別	火 災	8	1.8%	7	1.6%	4	0.8%	4	0.7%	7	1.2%
	交 通	40	9.2%	38	8.4%	27	5.6%	31	5.6%	27	4.4%
	水 難	4	0.9%	10	2.2%	9	1.9%	7	1.3%	10	1.6%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	2	0.5%		0.0%	3	0.6%	2	0.4%	1	0.2%
	建 物	202	46.3%	216	48.0%	231	48.0%	238	43.2%	261	43.0%
	ガス・酸欠	1	0.2%	5	1.1%	3	0.6%	5	0.9%		0.0%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	179	41.1%	174	38.7%	204	42.5%	264	47.9%	301	49.6%
活 動 件 数		282 件		278 件		290 件		343 件		367 件	
事 故 種 別	火 災	8	2.8%	7	2.5%	4	1.4%	4	1.2%	7	1.9%
	交 通	20	7.1%	14	5.1%	10	3.4%	13	3.8%	9	2.5%
	水 難	3	1.1%	9	3.2%	6	2.1%	4	1.2%	9	2.5%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	1	0.3%		0.0%	2	0.7%	2	0.6%	1	0.3%
	建 物	169	59.9%	178	64.0%	189	65.2%	214	62.3%	231	62.9%
	ガス・酸欠	1	0.4%	4	1.4%	2	0.7%	5	1.5%		0.0%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	80	28.4%	66	23.8%	77	26.5%	101	29.4%	110	29.9%
救 助 人 員		242 人		224 人		234 人		277 人		292 人	
事 故 種 別	火 災	7	2.9%	3	1.3%	6	2.6%	4	1.4%	5	1.7%
	交 通	27	11.2%	16	7.1%	10	4.3%	14	5.1%	10	3.4%
	水 難	3	1.2%	8	3.6%	4	1.7%	4	1.4%	8	2.8%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	1	0.4%		0.0%	2	0.9%	2	0.7%	1	0.3%
	建 物	169	69.8%	174	77.7%	185	79.0%	218	78.7%	231	79.1%
	ガス・酸欠	1	0.4%	2	0.9%	2	0.8%	6	2.2%		0.0%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	34	14.1%	21	9.4%	25	10.7%	29	10.5%	37	12.7%
内 訳	男 性	114 人		114 人		115 人		130 人		147 人	
	女 性	128 人		110 人		119 人		147 人		145 人	
出 動 台 数		1,043 台		1,072 台		1,095 台		1,250 台		1,407 台	
出 動 人 員		3,800 人		3,931 人		4,013 人		4,471 人		5,075 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
	合計		3	13	46
		14	62	211	12
尼崎市		1	5	19	-
		9	42	143	8
宝塚市		1	5	17	2
		4	16	57	4
芦屋市		1	3	10	-
		-	-	-	-
伊丹市		-	-	-	-
		1	4	11	-
神戸市		-	-	-	-
		-	-	-	-

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(令和6年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器		アセチレン	
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		437	8	367	0	42	20	7	1	6	0
局		5				5		0			
		3	3					0			
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		67	5	62				0			
西宮	北夙川	0						0			
		30		30				0			
鳴尾	本署	14				9	5	2		2	
		64		64				0			
鳴尾	浜	0						0			
		31		31				0			
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		69		69				0			
瓦木	甲東	0						0			
		33		33				0			
北	本署	12				6	6	2		2	
		48		48				0			
北	山口	0						0			
		30		30				0			

※ 下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(令和6年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	18	2	4	4	4	4
三連はしご	22	2	6	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	45	8	9	13	9	6
油圧ジャッキ	13		4	3	4	2
油圧スプレッダー	18		6	5	5	2
可搬式ウインチ	11	3	2	2	2	2
マンホール救助器具	6	1	1	1	2	1
エンジンカッター	29	1	9	6	8	5
ガス溶断機	3		1	1	1	
チェーンソー	29	1	6	9	7	6
各種ガス酸素濃度測定器	21	2	7	3	3	6
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	188	18	41	48	42	39
携帯投光器	19	3	5	3	5	3
携帯警報器(モーションスカウト)	219	18	55	50	48	48
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	2				1	1
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	1		1			
電磁波探查装置	1		1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	4		2	2		
潜水器具一式	23	5	5	4	5	4
救命ボート	13		3	3	3	4
船外機	3		1	1	1	
バスケット担架	9	1	2	2	3	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	16		4	4	4	4
ハンマドリル	17	1	4	4	5	3
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	59		50			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	4		1	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
除染シャワー	3		1			2
チェーンブロック	0					
簡易画像探索機	3		1	1		1
*化学剤検知測定器	4	1	1			2

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



消防指令室

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

- (1) 無線設備
 - ア 署活動用無線機3台を新規整備した。(総数284台)
 - イ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の令和5年度における保守について保守契約を締結し、無線設備の適正な維持管理を行った。
- (2) 有線設備
 - ア 鳴尾消防署及び北夙川分署のファクシミリの再リース契約を行った。
 - イ 瓦木消防署の電話設備を更新した。
 - ウ 消防局電話設備保守業務委託契約を継続して実施し、障害発生時の速やかな復旧と安定した通信体制の確保に努めた。

2 通信業務対応能力の向上

- (1) 研修及び訓練
 - ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修を実施するとともに、阪神地区消防長会救急隊員研修会を受講した。また、外部講師を招いての口頭指導研修及び口頭指導シミュレーション訓練を実施した。
 - イ 実災害をもとに検討会を実施し、災害対応能力の強化を図った。
 - ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
 - エ 消防緊急情報システムの円滑な操作技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。
 - オ 消防局全職員を対象とした順次指令装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
 - カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
 - キ 異動者に対して重点的に研修を実施し、指令業務の早期習得を図った。
 - ク 消防局内の指令課勤務経験者に対して指令課実務研修を実施し、各種感染症などで通信指令員に欠員が生じた場合や、大規模災害時の通信指令員の補完体制を確立した。
 - ケ 可搬型指令システム取扱訓練及び北消防署集中受信訓練並びに西宮消防署からのリモート指令訓練を実施し、消防指令室での119番回線遮断時の対応能力の向上を図った。
 - コ 中小規模災害で複数傷病者の発生を想定し、兵庫県広域災害・救急医療情報システムを使用したエリア災害訓練を実施した。
 - サ 各所属職員が消防指令室での勤務を体験することにより、指令業務に対する理解が深まるよう実務研修を実施した。
 - シ 大規模自然災害の発生を想定した大規模災害初動対応訓練を実施し、警防本部の有事即応体制の強化を図った。
- (2) 広報
 - 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）について、市政ニュース及びさくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適切な119番の利用と通報要領を啓発するとともに、Live119の周知及び協力依頼を発信した。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

(1) 消防緊急情報システムの運用管理

消防緊急情報システムを最大限に駆使し、統合型位置情報通知システム、地図情報、現場映像共有機能、福祉情報、防災情報システムとの連携機能等を活用して、迅速・的確な指令体制を確立した。

また、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、通信指令員のシステム復旧までの対応技術や危機管理体制の向上を図った。

(2) 消防緊急情報システムの保守管理

年間計画によるシステム機器の定期点検を確実に実施することで、障害発生を未然に防ぎ、システム機器の機能維持を図った。

また、各署と連携して各種支援情報を随時更新し、データを常に最新の状態に保ち、円滑な現場活動につなげた。

(3) 個人情報の保護

西宮市情報セキュリティポリシー及び西宮市消防緊急情報システムの運用に関する情報セキュリティ実施手順に基づき、個人情報とセキュリティ確保に努めた。

消防通報用電話（119番）受信状況

種別 月別	緊急通報					その他							総 受 信 件 数	1 日 平 均	内 部 テ ス ト	内 部 研 修	内 部 を 含 む 総 計	1 日 平 均
	小 計	火 災	救 急	救 助	その 他の 災 害	小 計	間 違 い	いた ず ら	通 報 訓 練	病 院 問 合 せ	無 応 答	そ の 他						
1月	2,472	13	2,362	41	56	926	110	7	33	364	119	293	3,398	109.6	5		3,403	109.8
	671	2	663	2	4	164	15	2	7	77	8	55	835				835	
	1,383	10	1,298	32	43	620	82	1	1	257	106	173	2,003			3	2,006	
2月	1,998	9	1,915	38	36	729	111	7	51	175	134	251	2,727	97.4	5	4	2,736	97.7
	570		564	3	3	114	8	1	14	35	10	46	684				684	
	1,053	8	990	30	25	480	89	4	3	121	114	149	1,533			2	1,535	
3月	2,233	32	2,136	32	33	904	134	12	111	206	158	283	3,137	101.2	11		3,148	101.5
	603	4	590	5	4	140	9	1	37	50	5	38	743				743	
	1,229	21	1,167	22	19	588	108	7	10	138	146	179	1,817			3	1,820	
4月	1,991	16	1,913	34	28	847	142	10	45	195	165	290	2,838	94.6	36	15	2,889	96.3
	538	2	530	3	3	91	10		12	35	4	30	629				629	
	1,120	11	1,062	26	21	597	113	5	3	151	145	180	1,717			18	9	
5月	2,261	14	2,176	26	45	1,059	175	24	89	251	223	297	3,320	107.1	7	1	3,328	107.4
	629		619	5	5	131	9		35	42	13	32	760				760	
	1,261	13	1,194	19	35	746	148	22	14	182	198	182	2,007			2	1	
6月	2,362	11	2,271	35	45	1,036	156	6	90	225	269	290	3,398	113.3	23		3,421	114.0
	621	2	607	2	10	118	9		27	34	12	36	739				739	
	1,371	9	1,304	29	29	714	116	4	2	169	239	184	2,085			19	2,104	
7月	2,910	9	2,796	37	68	1,121	199	9	62	294	269	288	4,031	130.0	3		4,034	130.1
	710	1	697	4	8	117	11		18	43	11	34	827				827	
	1,719	7	1,638	30	44	832	165	9	2	222	244	190	2,551			3	2,554	
8月	3,021	14	2,894	46	67	1,031	142	12	40	298	173	366	4,052	130.7			4,052	130.7
	809	2	791	5	11	144	11	1	12	64	12	44	953				953	
	1,729	10	1,640	33	46	708	117	8	2	201	148	232	2,437				2,437	
9月	2,543	4	2,450	41	48	853	100	8	80	242	157	266	3,396	113.2	3	1	3,400	113.3
	731	1	721	6	3	142	14		29	57	10	32	873				873	
	1,433	3	1,362	32	36	540	74	5	3	168	133	157	1,973			3	1,976	
10月	2,381	10	2,272	48	51	795	113	12	81	200	133	256	3,176	102.5	7	1	3,184	102.7
	614	3	604	1	6	122	11	1	32	30	9	39	736				736	
	1,411	4	1,330	40	37	481	71	8	2	152	113	135	1,892			5	1,897	
11月	2,304	19	2,218	22	45	791	112	10	131	181	95	262	3,095	103.2	3		3,098	103.3
	639	1	631	1	6	122	13	1	48	28	6	26	761				761	
	1,295	18	1,229	15	33	486	83	6	14	134	83	166	1,781			3	1,784	
12月	2,626	16	2,522	41	47	855	131	28	106	215	102	273	3,481	112.3	12		3,493	112.7
	731	2	714	7	8	123	17	1	31	35	5	34	854				854	
	1,516	14	1,438	29	35	538	91	25	10	152	89	171	2,054			8	2,062	
合計	29,102	167	27,925	441	569	10,947	1,625	145	919	2,846	1,997	3,415	40,049	109.7	115	22	40,186	110.1
	7,866	20	7,731	44	71	1,528	137	8	302	530	105	446	9,394				9,394	
	16,520	128	15,652	337	403	7,330	1,257	104	66	2,047	1,758	2,098	23,850			69	10	
1日 平均	79.7	0.5	76.5	1.2	1.6	30.0	4.5	0.4	2.5	7.8	5.5	9.4	109.7		0.3	0.1	110.1	
割合 %	72.7	0.4	69.7	1.1	1.4	27.3	4.1	0.4	2.3	7.1	5.0	8.5	100.0		0.3	20.0		

※ 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数、下段は携帯電話の119番受信件数
 ※ 種別～その他のその他は、災害に関する照会等
 ※ 1日平均は、小数点第2位を四捨五入

消防通信施設の状況

令和6年4月1日現在

区分	119 報知専用 電話線	119 転送回 線	加入電話			順次 指令装 置	携帯 衛星 電話機	衛 星 電 話 機	消防電話			指令				位置 情報 通知 システム (統合型)	高 所 カ メ ラ シ ス テ ム	現 場 映 像 伝 送 装 置	気 象 情 報 シ ス テ ム	フ ェ ニ ッ ク ス 防 災 シ ス テ ム 等	無線設備														
			一 般 加 入 台	フ ァ ク シ ミ リ 本 台	消 防 テ レ ホ ン サ ー ビ ス 本 台				携 帯 電 話 機 台	自 動 交 換 機 台	電 話 機 数 台	業 務 回 線 台	指 令 台 ・ 指 揮 台	指 令 端 末 電 話 機 台	指 令 回 線 台						直 通 回 線 台	出 動 分 団 指 令 シ ス テ ム 台	基 地 局	陸上移動局						携 帯 局	衛 星 通 信				
																								固 定 型 デ ジ タ ル 台	車 載 型 デ ジ タ ル 台	可 搬 型 デ ジ タ ル 台	可 搬 型 デ ジ ア ナ 変 換 装 置 台	携 帯 型 デ ジ タ ル 台	携 帯 型 ア ナ ロ グ 台			携 帯 型 (署 活 動 用) 台	携 帯 型 デ ジ タ ル 台		
																																		衛 星 通 信 可 搬 型 V S A T 台	
合計	18	4	67 (4)	14	3	30	77	3	1	435	21	7	9	9	4	37	2	3	29	1	4	3	6	118	7	2	88	7	284	27	2				
消防局	18	4	32	5	3	30	10	2	1	123	1	7	1	1			2	3	4	1	4	1		9	3	1	23	3	37		1				
整備センター			3	1			12			7	2													11			10			1					
西宮			4	1			9			110	2		1	1					4					1	11	1		13	1	46	1				
北夙川			3	1			5			16	2		1	1					2					1	5			6		22	1				
鳴尾			4	1			9			31	2		1	1					4					1	9	1		1	39	12					
浜			3	1			5			35	2		1	1					2					1	6				22	8					
瓦木			4	1			9			25	2		1	1					4					1	9	1		11	1	38	1				
甲東			3	1			5			47	2		1	1					2					1	5			6		22	1				
北			8 (4)	1			8	1		25	2		1	1					5				1		9	1		13	1	36	1	1			
山口			3	1			5			14	2		1	1					2				1		5		1	6		22	1				
消防団																37									39										
医療機関										2	2																								
警察署														2																					
大阪ガス																																			
高速道路														2																					

- ※ 一般加入は、発信及び着信専用含む
- ※ 一般加入の()は、集中受信システム回線数
- ※ 119転送回線は、受信専用回線
- ※ フェニックス防災システム等は、フェニックス防災システム、兵庫県広域災害・救急医療情報システム、兵庫県衛星通信ネットワークシステム、兵庫県高所カメラ映像等伝送システムを含む

気象情報等月別発表状況

種別	月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	特別警報	大雨	雨	0											
大雪		雪	0												
暴風		風	0												
暴風		風雪	0												
波浪		浪	0												
高潮		潮	0												
その他			0												
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	大雨	雨	14				3	4	3		7				
	洪水	水	2					2							
	大雪	雪	0												
	暴風	風	3								3				
	暴風	風雪	0												
	波浪	浪	3								3				
	高潮	潮	3								3				
	小計		25	0	0	0	0	6	3	0	16	0	0	0	0
注意報	大雨	雨	33				3	5	5	5	12	3			
	洪水	水	10					3	2		5				
	大雪	雪	2	2											
	強風	風	116	10	2	10	21	14	8	5	11	4	8	15	8
	風雪	風雪	2	2											
	波浪	浪	119	13	2	10	21	14	8	5	11	4	8	15	8
	高潮	潮	10			1			1	2	1	3	2		
	雷	雷	156	4		5	10	16	13	25	40	22	10	8	3
	濃霧	霧	10	1			3	1		1			2	1	1
	乾燥	燥	47	6	6	12	6	2					8	2	5
	着氷	氷	0												
	着雪	雪	1	1											
	霜	霜	7			7									
	低温	温	6	6											
その他		0													
小計		519	45	10	45	64	55	37	43	80	36	38	41	25	
情報	大雨	雨	55					6	13	10	8	10		8	
	大雪	雪	15	9											6
	雪	雪	1											1	
	風雪	風雪	7	7											
	台風	風	18								18				
	低気圧	圧	0												
	突風・強風	風	99	7		3	8	4	14	17	1	14	6	18	7
	竜巻	巻	66			2		1	13	16	27	4	1	2	
	高波	波	17	7			5							5	
	高潮	潮	2											2	
	潮位	位	0												
	津波	波	0												
	地震	震	0												
	雷	雷	0												
	落雷	雷	79			3	3	5	14	14	1	14	6	12	7
	降ひょう	ょう	32				3	5	9	1			6	7	1
	少雨	雨	0												
	長雨	雨	0												
	強い冬型の気圧配置		0												
	黄砂	砂	4				2								2
	光化学スモッグ		0												
その他		3					3								
火災気象通報/乾燥		141	14	10	29	17	8					25	14	24	
火災気象通報/強風		172	14	6	15	22	13	6	7	19	5	15	26	24	
小計		711	58	16	52	60	45	69	65	74	47	59	95	71	
火災警報		0													
火災注意報		0													
合計		1,255	103	26	97	124	106	109	108	170	83	97	136	96	

消防テレホンサービス利用状況

(令和5年度中)

	利用件数	1日平均利用件数
4月	219	7
5月	306	10
6月	255	9
7月	344	11
8月	268	9
9月	210	7
10月	318	10
11月	287	10
12月	270	9
1月	253	8
2月	180	6
3月	244	8
合計／平均	3,154	9

※ 1日平均利用件数は小数点第1位で四捨五入

車 両 整 備



水槽付消防ポンプ自動車

車 両 整 備 の 概 要

令和5年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、水槽付消防ポンプ自動車1台及び高規格救急自動車1台を更新し、また、非常用車両として水槽付消防ポンプ自動車1台を増車することにより、消防及び救急体制の充実強化を図った。

- 1 水槽付消防ポンプ自動車
浜分署に水槽付消防ポンプ自動車を購入した。
- 2 高規格救急自動車
西宮消防署に高規格救急自動車を購入した。

	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
水槽付消防ポンプ自動車	浜 2	令和5年7月3日	浜 分 署	更 新
高規格救急自動車	西宮9	令和6年2月2日	西宮消防署	更 新

点 検 整 備 等

(単位：台)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		39	77	86	163	755
消 防 局		11	14	27	41	197
西 宮	小 計	9	20	13	33	150
	本 署	5	17	8	25	102
	北夙川	4	3	5	8	48
鳴 尾	小 計	7	17	15	32	141
	本 署	5	11	8	19	84
	浜	2	6	7	13	57
瓦 木	小 計	5	11	17	28	135
	本 署	4	11	8	19	85
	甲 東	1	/	9	9	50
北	小 計	7	15	14	29	132
	本 署	5	11	8	19	84
	山 口	2	4	6	10	48

消 防 団



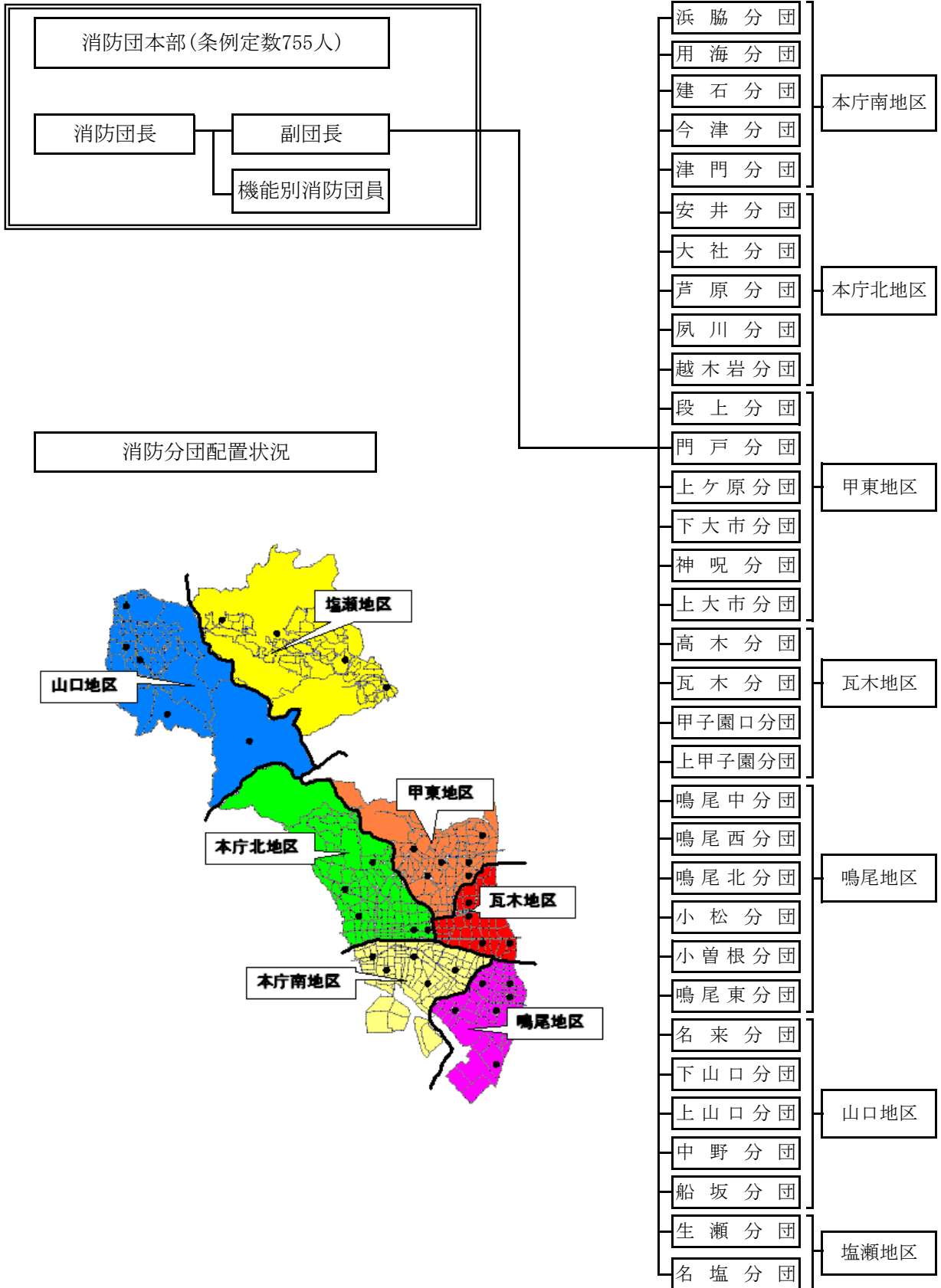
消防団消防操法大会

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成7年 1 月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材(8品目)を33分団に配置完了(4年計画)
平成11年 1 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工

平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工
平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足
平成21年 8 月	避難用ゴムボートを13分団に配置
平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工
平成30年 12 月	中野分団車庫竣工
平成31年 3 月	門戸分団車庫竣工
令和 2 年 3 月	用海分団車庫竣工 生瀬分団新車庫竣工
令和 2 年 11 月	小松分団車庫竣工
令和 3 年 3 月	上山口分団金仙寺班車庫竣工
令和 4 年 3 月	今津分団車庫竣工
令和 5 年 1 月	安井分団車庫竣工

消防団の組織



消防団自動車現況

(令和6年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢(年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 令和元	1. 7. 3	4	1,875	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	12	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	12	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	11	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	7	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	6	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	12	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	8	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	10	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	11	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	10	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	8	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	5	4,930	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	5	4,930	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	6	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	7	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	9	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	11	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	5	4,930	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	9	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	10	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	14	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	9	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	13	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	7	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	13	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	7	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	15	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 令和3	3. 1. 28	3	4,990	〃	シバウラ F T 300M
上 山 口 分 団	トヨタ 令和2	2. 2. 3	4	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	14	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	15	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	トヨタ 令和4	4. 12. 8	1	4,740	〃	シバウラ F T 300M
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	6	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	8	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	13	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	トヨタ 令和2	2. 2. 3	4	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 木之元班	トヨタ 令和4	4. 1. 28	2	4,690	〃	シバウラ F T 300M
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	15	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(令和6年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (うち女性)	671 (13)	1	7	33	36	37	109 (1)	448 (12)
5年未満 (うち女性)	109 (7)						1	108 (7)
5～9年 (うち女性)	122 (3)						7	115 (3)
10～14年 (うち女性)	109 (3)			1	1	2	15 (1)	90 (2)
15～19年	82				2	5	12	63
20～24年	78			4	4	6	33	31
25～29年	71			8	8	12	23	20
30年以上	100	1	7	20	21	12	18	21

※ 団員平均 16年6ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(令和6年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	671	1	7	33	36	37	109	448
20歳未満	3							3
20～24歳	25							25
25～29歳	25							25
30～34歳	25						2	23
35～39歳	58						2	56
40～44歳	73				1	1	10	61
45～49歳	96			1	2	2	18	73
50～54歳	129			4	7	12	24	82
55～59歳	95			6	7	16	26	40
60歳以上	142	1	7	22	19	6	27	60

※ 団員平均 49歳7ヶ月

消防団費と市民負担

(令和6年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1 世帯当り	人口 1 人当り
	265,616千円	1,160円	552円

消 防 団 出 動 状 況

(令和5年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水防・防災	警 戒	訓 練
出動回数	682	57		13	612
出動分団数	1,391	162		235	994
出動車両数	1,398	166		239	993
出動団員数	9,104	1,222		1,522	6,360

消 防 団 訓 練 実 施 内 容

(令和5年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	38	40	42	315
西宮市消防出初式				
「文化財防火デー」に伴う消防訓練				
西宮市消防団消防操法大会	1	34	33	198
春の全国火災予防運動・訓練	7	163	162	633
西宮市総合防災訓練				
秋の全国火災予防運動・訓練	7	164	168	632
小学校区防災訓練	2	5	4	21

派遣研修及び教育訓練実施状況

(令和5年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 能 別 団 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	操 縦 訓 練	資 器 材 取 扱 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	想 定 訓 練	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	128	3	1	1	48	6		4	53	2	10	
人 員	1,657	5	14	13	594	145		99	579	63	145	

※ 分団定例訓練は除く

公務災害等発生状況

(令和5年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別							傷 病 程 度 別						
				副 団 長 以 上	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	療 養			入 院			死 亡	
										一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月		一 カ 月 ～ 三 カ 月
公務災害	火災	0	0														
	警戒	0	0														
	水防 防災	0	0														
	その他	0	0														
	訓練中	1	1						1		1						
一般業務中	0	0															
合 計		1	1						1		1						

団員の職業別

(令和6年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 水 ガ ス 道	運 通 輸 信	卸 小 飲 食 売 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他 職 等
671	26		112	75	22	57	77	20	23	140	33	86

表 彰

(令和5年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	3	27	9	28	29	27
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長						
分 団 長	3	6		6	1	
副 分 団 長		7	4		1	
部 長		3	5	7	5	
班 長		6		10	7	5
団 員		5		5	15	22

消 防 年 報

(令和5年版)

発 行 令和6年8月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0918

西宮市六湛寺町8番28号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん